２　地域の現況

（１）有度山の概況

１） 有度山の成り立ち

有度丘陵は、静岡・清水平野の中央に位置し、東～北～西の三方を市街地に囲まれた丘陵で、南側はごく狭い平野（砂丘）を隔てて駿河湾に臨んでいる。丘陵は更新世（洪積世）に堆積した、かつての安倍川の砂礫層や、海成の泥層からなり、ドーム状隆起運動によって形成された。

東側（清水区側）は起伏が大きく、古くからミカン畑として利用され、複雑に入り組んだ谷には棚田が造られ、一部の湧水にはワサビ田も存在していたとされる。現在、山麓部では農地整備のための大規模な工事が行われ、元の地形は、ほとんど残されていない。

一方、西側（駿河区側）は、山麓部に農村が点在し、平坦面は古くから茶畑として利用されてきており、起伏の大きい場所はアカマツ林となっていた。戦後は新興住宅地が広がり、公共施設や学校が建てられていった。

山頂部には平坦面（日本平上位面）があり、三保松原を従えた富士を望む絶景の地で、日本平と呼ばれた。江戸時代まではアカマツの巨木が茂る林と伝えられているが、明治維新後に茶畑として開墾され、その後、優れた展望地として知られるようになり、特に戦後は観光地としての整備が進んでいった。

南は駿河湾に面して急崖をなす特異な地形を有しており、そこに生息する動植物も多様な様相を呈している。一部には、この土地本来の植生である照葉樹林を見ることができる。また、斜面の下部には、石垣イチゴのビニールハウスが立ち並び、静岡市を代表する観光資源のひとつにもなっている。山頂平坦面である日本平の南側には、急な崖によって丘陵本体から孤立した久能山があり、徳川家康を祀った久能山東照宮（国宝）が鎮座している。

図. 有度丘陵地図



２） 地形

有度丘陵は、静岡平野・清水平野といった沖積平野に囲まれ孤立した丘陵で、標高 307.2ｍの有度山を最高点とし、丘陵の南端が直線状になった半楕円形をなすが、これは海食によって丘陵南半分が失われたためである。このため丘陵南斜面は、旧海食崖や侵食崖が発達した険しい斜面となっており、狭い海岸平野との境界は明確である。丘陵を西の方からみると南に急崖をみせ、北に緩やかに傾いた非対称な断面を呈していることがわかる。丘陵南斜面の屏風岩は海食崖の代表的なもので、開析が進んで樹枝状に水系が発達した結果、久能山をはじめとする孤立峰が形成され、独特の景観を呈している。

丘陵の南斜面以外の斜面は全般的に緩やかで、事業予定地を含む頂部付近に１段、北～西麓部に２段の台地状平坦面を有する。頂部の平坦面は北西に緩やかに傾き山頂付近、日本平、日本平西南の３つの面に分割されており、日本平面と総称される。

山麓部の平坦面のうち上位のものは小鹿面と呼ばれる。小鹿面は山麓部の大谷～馬走の７箇所に分布する。いずれも麓に向かって緩やかに傾斜した面を形成しており、小鹿礫層の堆積面に相当する。最下位の平坦面は国吉田礫層の堆積面に相当する面で、国吉田面と呼ばれ、丘陵北麓の池田～御門台の３箇所に分布する。小鹿面よりも緩やかな面で、小鹿面とは比高 10～15ｍの崖で接する。これらの平坦面以外は緩やかに波打つ丘陵斜面になっている。

図. 有度丘陵の地形区分図

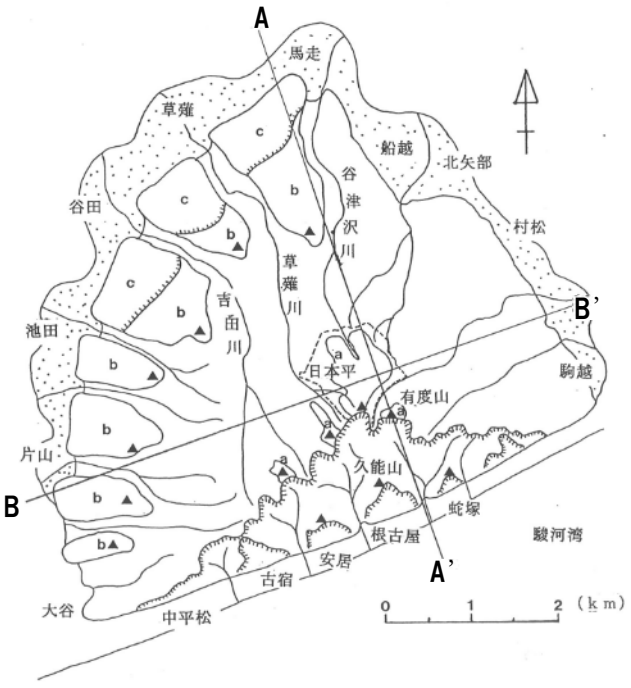
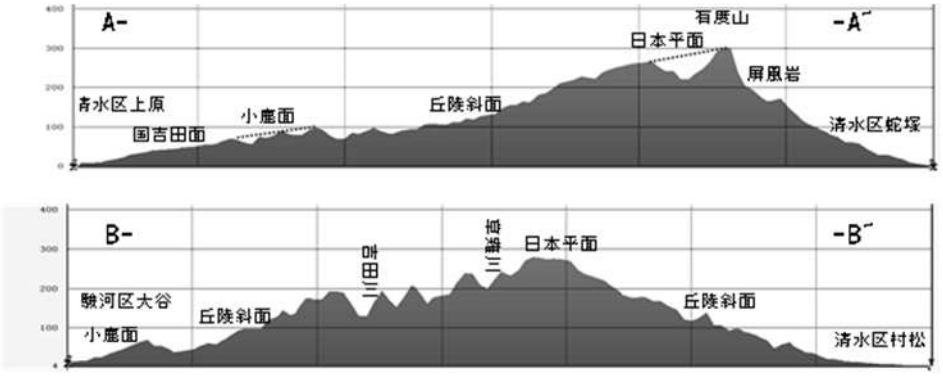
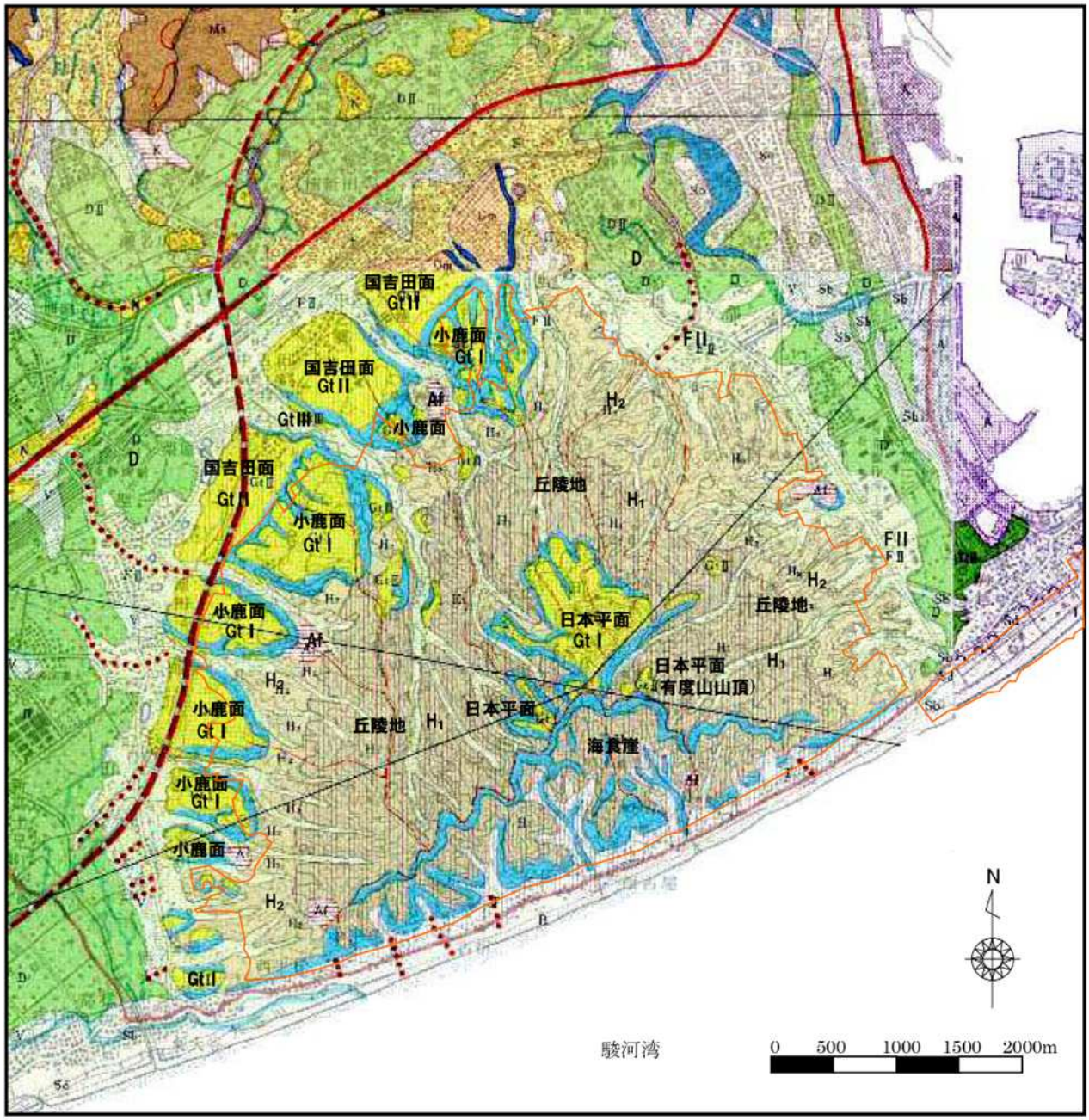


図. 有度丘陵の地形断面図





凡　　例			
	事業予定地	FII	扇状地･谷底平野(Ⅱ)(小規模・砂礫質)
	日本平公園区域	D	三角州・海岸平野
	県立自然公園区域	Sb	砂礫洲・砂堆
Gt I	砂礫台地(Ⅰ)(日本平面)	Sb	河原及び浜
Gt II	砂礫台地(Ⅱ)(小鹿面)	B	崖
Gt III	砂礫台地(Ⅲ)(国吉田面)	Af	人工改変地
H_1	丘陵地(Ⅰ)	Af	天井川
H_2	丘陵地(Ⅱ)		

資料:土地分類基本調査(昭和 50 年 3 月　国土交通省　土地･水資源局　国土調査課ホームページ)

3） 植生

「第 6 回・7 回自然環境保全基礎調査　植生調査」（2004～2005（平成 16～17）年、環境省）によれば、事業予定地及び周辺の現存植生は次図に示すとおりである。

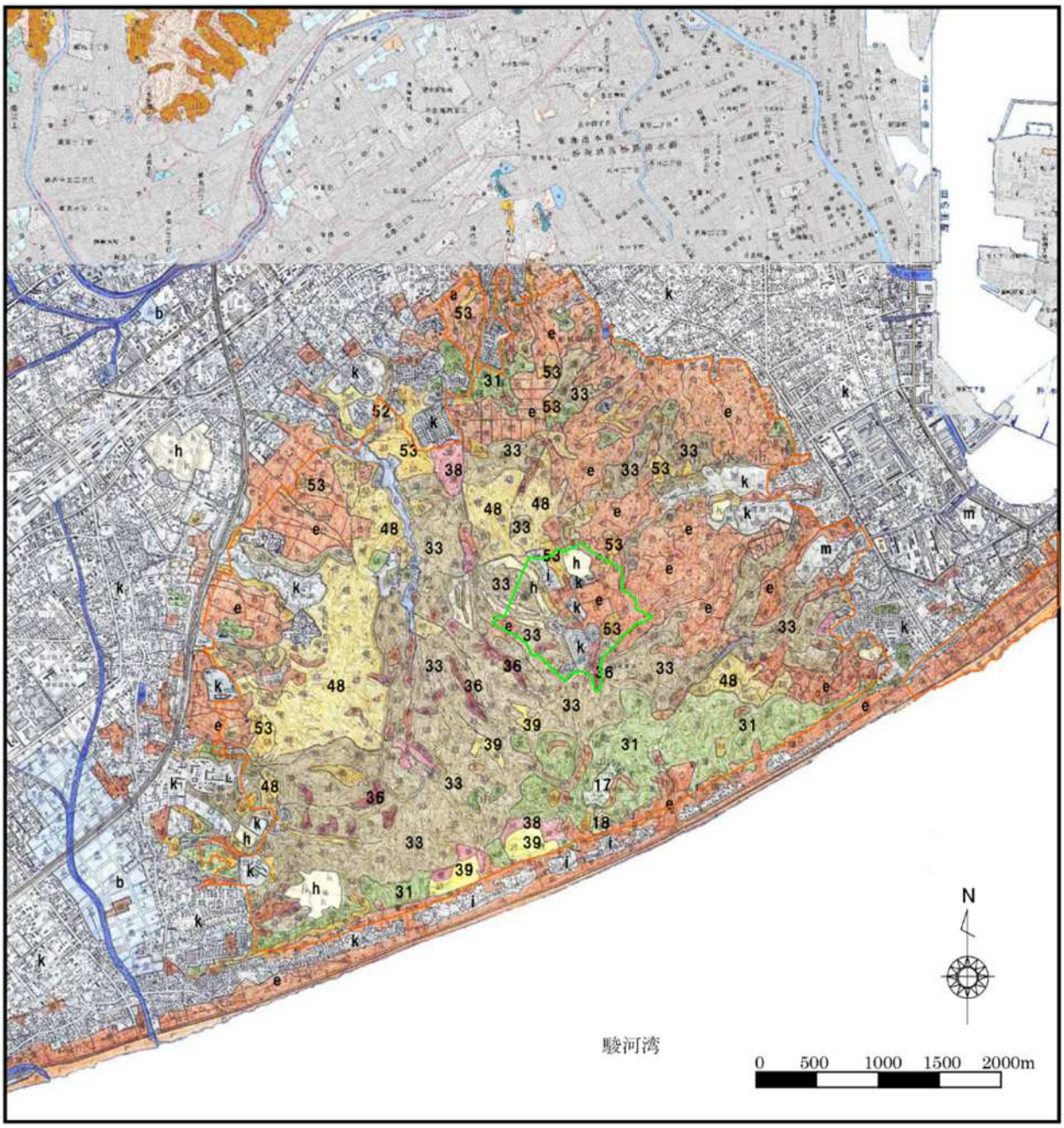
計画地及び周辺の植生は、山頂部は主に果樹園、市街地・緑の多い住宅(開発地)が大きな面積を占め、西側及び急崖をなす南側はコナラ群落、シイ・カシ二次林が分布している。「第 3 回自然環境保全基礎調査　静岡県自然環境情報図（1991（平成元）年、環境庁）」によれば、計画地及び周辺における特定特物群落では、久能山の照葉樹林は久能山東照宮一帯に分布する古い森で、樹木が大きく、タブを多く交えた海岸型のシイ・タブ林の構成をもっており、ホルトノキやヒメユズリハなども生育する。

表. 計画地周辺の特定植物群落

名　称	位　置	選定基準
久能山の照葉樹林	久能山東照宮一帯	原生林もしくはそれに近い自然林
三保松原	三保	郷土を代表する植物群落
清見寺のシイ・タブ林	清水区清見寺	原生林もしくはそれに近い自然林。郷土を代表する植物群落
袖師神明宮の社叢	清水区袖師	郷土を代表する植物群落
門屋のシャク群落	葵区門屋	普通に見られる種であっても分布上重要な植物群落
用宗の照葉樹林	駿河区用宗	郷土を代表する植物群落

資料：第 3 回自然環境保全基礎調査　静岡県自然環境情報図（1989（平成 1）年、環境庁）
静岡県の植物群落(1981（昭和 56）年、近田文弘、第一法規)

図. 現存植生図



凡　　例					
	日本平公園区域	38	低木群落	e	果樹園
	県立自然公園区域	39	ススキ群団(Ⅶ)	h	ゴルフ場・芝地
		48	ｽｷﾞ・ﾋﾉｷ・ｻﾜﾗ植林	i	緑の多い住宅地
17	ﾐﾐｽﾞﾊﾞｲｰｽﾀﾞｼﾞｲ群集	53	竹林	k	市街地
18	タブノキ群落	36	アカマツ群落	m	造成地
31	シイ・カシ二次林	a	畑雑草群落	w	開放水域
33	コナラ群落(Ⅶ)	b	水田雑草群落		

資料：第６回・7回自然環境保全基礎調査植生情報提供ホームページより(清水、興津、静岡東部)

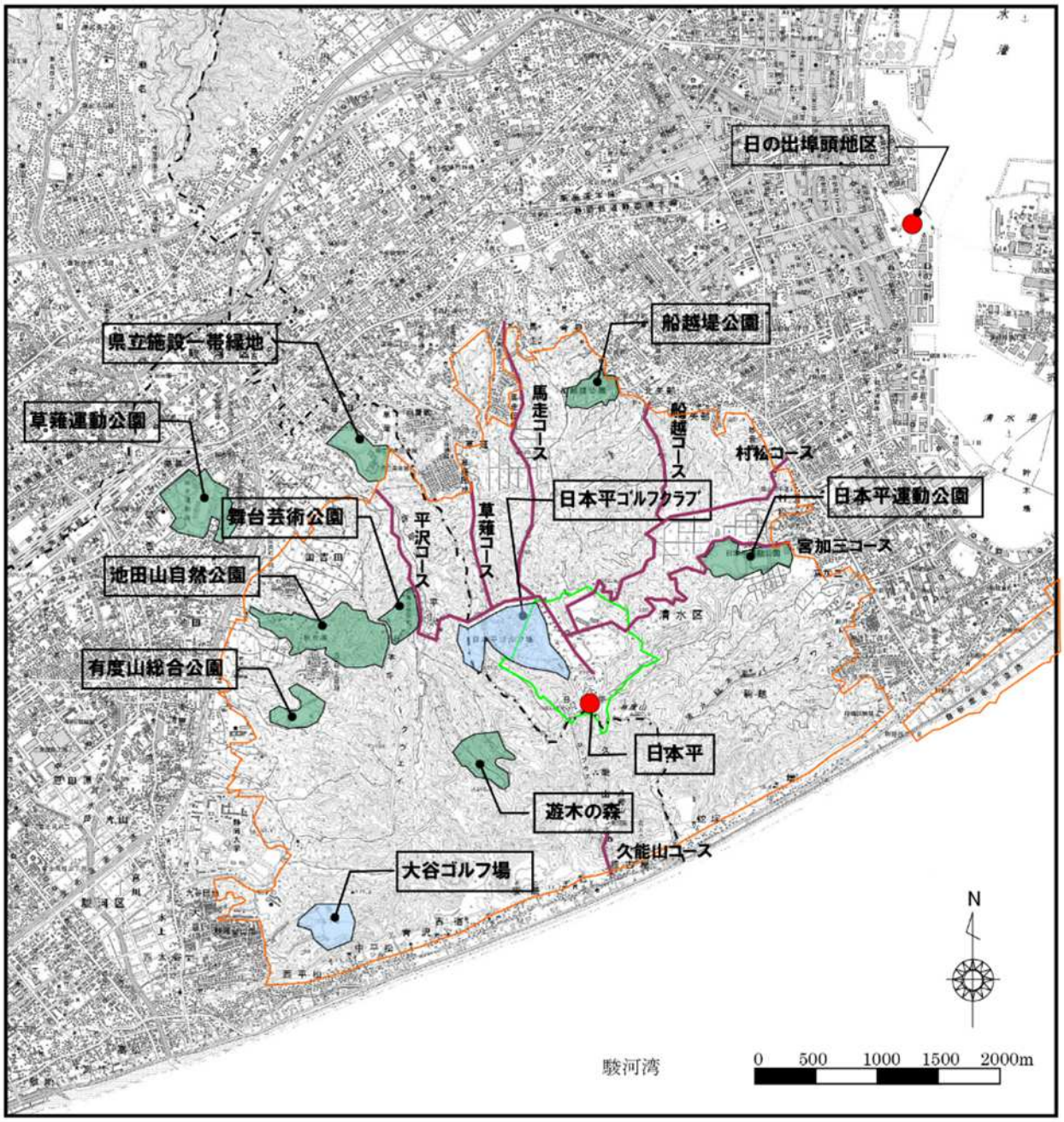
4） 野外レクリエーション

計画地及び周辺の野外レクリエーション地の分布状況は下表ならびに次図に示すとおりである。

表. 野外レクリエーション施設一覧

名　称	種　別	規　模	概　要
日本平	観光・自然	－	展望、国指定名勝、日本平公園内
三保松原	観光・自然	－	展望、羽衣の松、砂丘海岸、国指定名勝
ハイキングコース	自然探勝	各約 4km	有度丘陵山麓と日本平山頂を結ぶ 7 本のハイキングコース（平沢、草薙、馬走、船越、村松、宮加三、久能山）が整備されている
草薙総合運動公園	運動公園	23.8ha	公式野球場、軟式野球場、陸上競技場、補助競技場、庭球場、球技場、体育館他
日本平運動公園	運動公園	16.4ha	球技場、庭球場、多目的広場他
船越堤公園	総合公園	9.4ha	桜、茶室、野外ｽﾃｰｼﾞ、天文台、富士山展望　他
池田山自然公園	総合公園	35.8ha	日本平動物園、アスレチック他
有度山総合公園	総合公園	11.8ha	庭球場、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ場、ﾀｰｹﾞｯﾄﾊﾞｰﾄﾞｺﾞﾙﾌ場
県立施設一帯緑地	施設緑地	－	大学、図書館、美術館などを含む県立施設一帯の緑地。芝生広場。散歩路他
遊木の森	森林公園	18.0ha	静岡県森林環境教育の実践の拠点。バッタの原っぱ、わんぱく体験ゾーン他
静岡県舞台芸術公園	芸術文化	21.0ha	静岡県舞台芸術活動の拠点。野外劇場、ホール他
日本平ゴルフクラブ	ゴルフ	－	9 ホール/ハーフ、日本平公園の都決区域内
大谷ゴルフ場	ゴルフ	－	18 ホール/ショートコース
清水港	海洋ﾚｼﾞｬｰ	－	マリーナが湾内に点在し、ヨット、ウインドサーフィン、プレジャーボートなどが楽しめる
三保真崎海水浴場	海水浴	－	駿河湾に面し富士山を望む海水浴場
三保内浜海水浴場	海水浴	－	比較的浅く波が穏やかな海水浴場
日の出埠頭地区	観光	－	清水港湾内。清水マリンパークを中心にアミューズメント施設などを配置した海洋親水レクリエーションエリア

図. 野外レクリエーション施設分布状況図



凡	例		
	日本平公園区域		野外レクリエーション施設(公共)
	県立自然公園区域		野外レクリエーション施設(民間)
			展望地
	区界		ハイキングコース

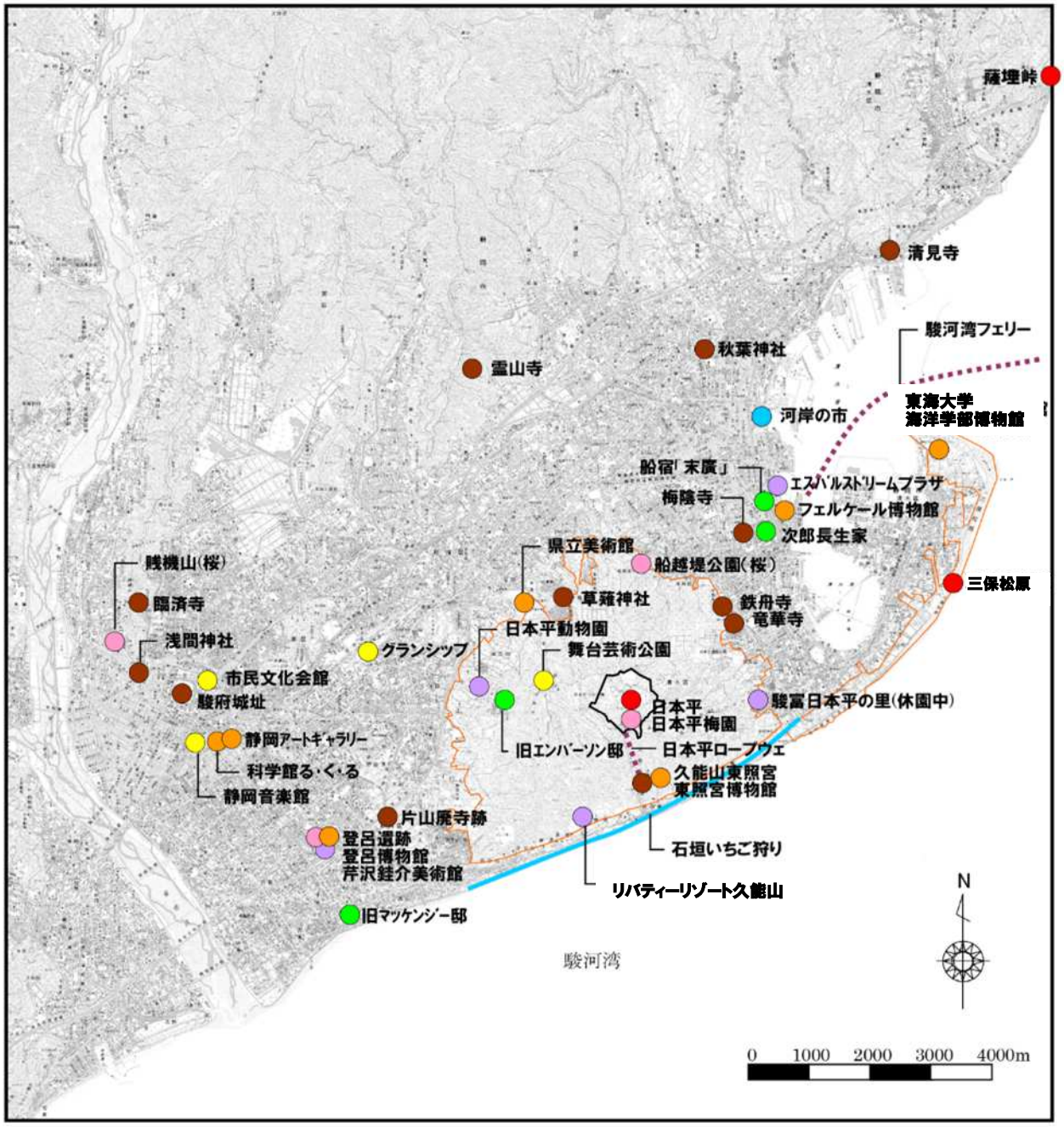
５） 観光施設・資源

計画地を含む有度丘陵一帯には、動物園や運動公園などの公園施設、美術館や図書館などの文教施設、ゴルフ場などのレクリエーション施設、神社仏閣などの歴史資源等、さまざまな観光施設が分布しており、静岡市観光の中心のひとつとなっている。

表. 計画地周辺の観光施設

分類	施設名称	所在地	施　設　概　要
神社・仏閣	臨済寺	葵区大岩	徳川家康が幼少期を過ごした寺。庭園は国指定名勝
	浅間神社	葵区宮ケ崎	駿河国総社。境内計 26 棟が国の重要文化財に指定
	久能山東照宮	駿河区根古谷	徳川家康没後の廟墓として 1617 年造営。国史跡
	清見寺	清水区興津	徳川家康ゆかりの寺。国指定名勝庭園、五百羅漢石像
	龍華寺	清水区村松	国指定天然記念物大ソテツ。高山樗牛墓所
	鉄舟寺	清水区村松	幕末に活躍した山岡鉄舟ゆかりの寺
	梅蔭禅寺	清水区南岡町	清水次郎長の墓
	霊山寺	清水区大内	駿河七観音のひとつで、通称“大内観音”
	草薙神社	清水区草薙	日本武尊の伝説が残る。龍勢花火は県無形民族文化財
	御穂神社	清水区三保	日本武尊が東征で立ち寄ったとされる。航海・漁業の神
	秋葉神社	清水区西久保	火伏せの神。１２月の“火渡りの神事”が有名
遺跡史跡	登呂遺跡	駿河区登呂	弥生時代の集落、水田遺跡。国特別史跡
	片山廃寺跡	駿河区大谷	奈良時代寺院跡。国指定史跡
城址	駿府城址（駿府城公園）	葵区駿府城公園	都市公園。東御門、巽櫓、坤櫓を復元、庭園を整備
歴史的建築	旧マッケンジー邸	駿河区高松	戦前に建てられた洋風住宅。国登録有形文化財
	旧エンバーソン邸	駿河区池田	明治 37 年建設の洋風住居。国登録有形文化財
	清水次郎長生家	清水区美濃輪	次郎長の写真や使った道具類、資料などを展示
	清水港船宿記念館「末廣」	清水区港町	清水次郎長が清水波止場に建てた船宿を復元
	興津坐漁荘	清水区興津	西園寺公望公が建てた別荘を復元
美術館・博物館・科学館等	駿府博物館	葵区紺屋町	近代日本画、墨跡、郷土の書家、版画家の作品収蔵
	静岡県立美術館	駿河区谷田	東西の風景画とロダン彫刻を中心に魅力的な作品を展示
	静岡アートギャラリー	駿河区南町	JR 静岡駅の南に位置する都市型アートスペース
	芹沢銈介美術館	駿河区登呂	静岡市出身の染色家芹沢銈介の作品を展示する
	静岡市登呂博物館	駿河区登呂	登呂遺跡に見る弥生時代農耕文化を伝える博物館
	久能山東照宮博物館	駿河区根古谷	徳川家康及び徳川家代々の武具、甲冑などを展示
	静岡科学館る・く・る	駿河区南町	「みる」「きく」「さわる」をキーワードにする都市型科学館
	フェルケール博物館	清水区港町	港の生い立ちから未来までを展望できる「港の博物館」
	東海大学海洋学部博物館	清水区三保	メガマウスザメの剥製標本、300 点の標本、研究資料展示
	東海大学自然史博物館	清水区三保	2023(令和 5))年閉館、収蔵品は海洋学部博物館に展示
観劇音楽鑑賞	静岡市民文化会館	葵区駿府町	大中小ホールを持ち様々な分野の作品を上演
	静岡音楽館ＡＯＩ	葵区黒金町	JR 静岡駅前に位置する音楽専用ホール
	グランシップ	駿河区池田	静岡県の文化芸術の発信基地
	静岡県舞台芸術公園	駿河区平沢	舞台芸術の創造活動を一貫して行なう場として整備
味覚	いちご狩り	久能海岸	海岸沿い 6Km にわたり石垣いちご観光摘取り園が続く
	みかん狩り	清水区草ヶ谷	静岡みかんの味を堪能できる
	茶摘み	日本平山頂	茶摘み、手もみ茶の体験ができる
	河岸の市	清水区島崎町	新鮮な魚介類や海産物を安価に販売。食事もできる
花見	丸子梅園	駿河区丸子	300 余種に及ぶ梅を展示
	洞慶院	葵区羽鳥	約 500 本が咲き誇る。永平寺の駿河末寺
	日本平梅園	日本平山頂	300 本の白梅、紅梅が植栽されている
	船越堤公園	清水区船越	850 本の桜が咲く総合公園
風景	日本平	清水区	国指定名勝。富士山の展望は秀逸
	三保松原	清水区三保	白砂清松と富士山の展望。羽衣伝説、世界遺産構成資産
	薩埵峠	清水区興津	東海道三大難所。富士山の展望が有名
テーマパーク	日本平動物園	駿河区池田	飼育動物 130 種 560 点、面積約 13ha
	リバティーリゾート久能山	駿河区古宿	江戸のまちをテーマにした温浴施設、ショッピング、グルメ
	エスパルスドリームプラザ	清水区入船町	清水港日の出地区にある複合型テーマパーク
	駿富日本平の里	清水区殿沢	農業に親しめる未来型有機栽培実験農園。（休園中）
交通	日本平ロープウェイ	清水区草薙	日本平と久能山を結ぶ観光ロープウェイ。全長 1065m
	駿河湾フェリー	江尻埠頭	清水と伊豆土肥を結ぶ観光フェリー。約 90 分の船旅

図. 観光施設・資源分布図



凡　例			
	日本平公園区域		観劇・音楽鑑賞
	県立自然公園区域		味覚
			花見
	神社・仏閣、遺跡・史跡		風景展望
	歴史的建築		テーマパーク
	美術館・博物館・科学館等		観光交通施設

６） 道路

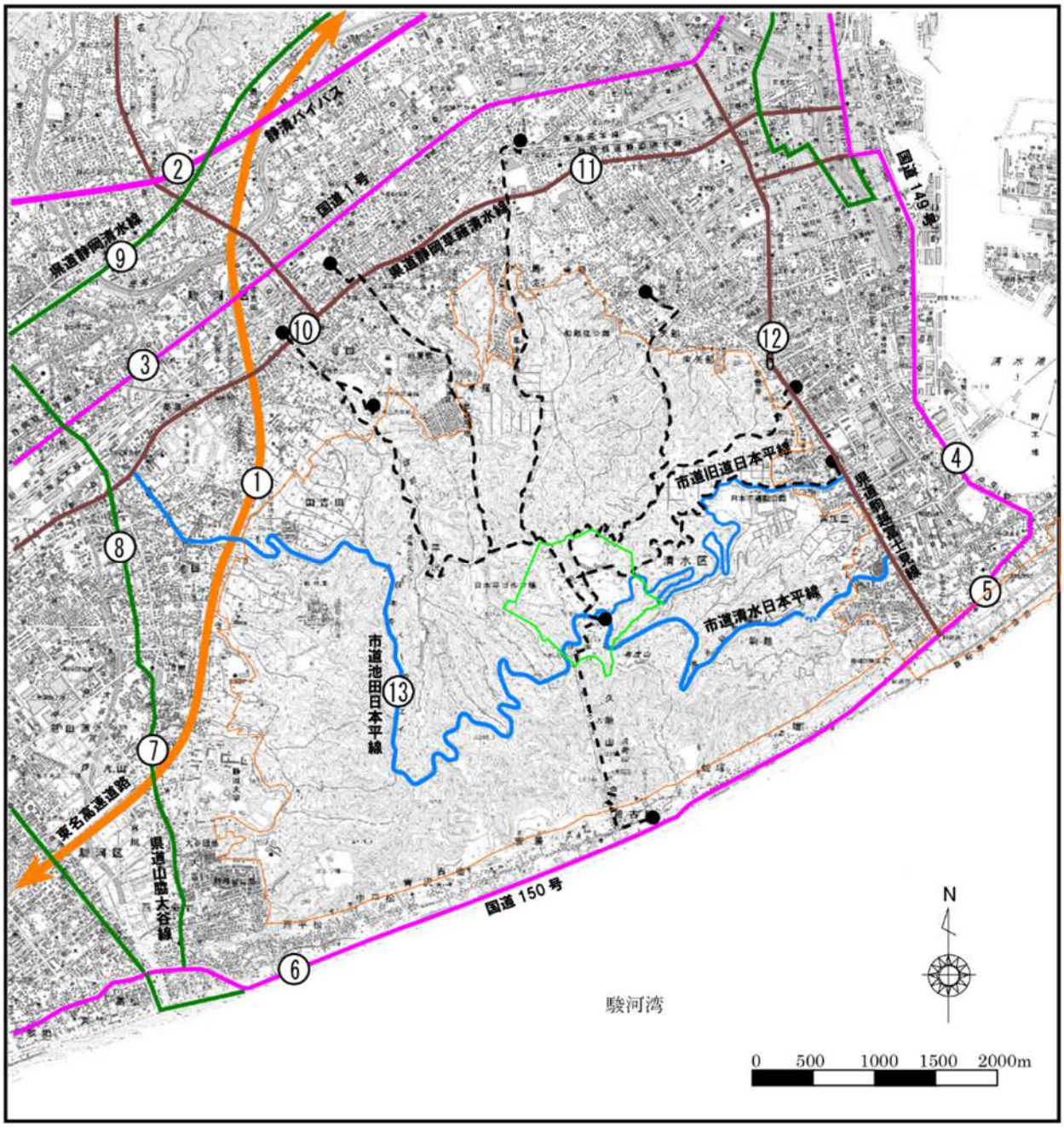
計画地周辺の道路網は、有度丘陵の四周を取り囲む形で整備されている。丘陵の北側は県道静岡草薙清水線(南幹線)、国道１号、国道１号静清バイパス、県道静岡清水線が静岡地域と清水地域を東西に結ぶ幹線の役目を果たしており、丘陵の南側は国道 150 号が海岸沿いの幹線をなしている。これと並行して三保半島突端の三保飛行場から自転車道（静岡清水自転車道路）が整備されている。

東側には県道駒越富士見線、西側は県道山脇大谷線が南北を走り、東西の幹線道路と交わっている。高規格道路では東名高速道路が有度丘陵北西麓をかすめるように通過しており、2019（令和１）年９月、有度山麓南西部（駿河区片山）に新たなインターチェンジ（日本平久能山スマートインターチェンジ）が開通した。

有度丘陵山麓と日本平公園を結ぶ道路は市道池田日本平線、市道清水日本平線、市道旧道日本平線の３路線で、計画地内の道路は順次、路線を含め改良整備を進めている。

①	東名高速道路	⑦・⑧	県道山脇大谷線
②	国道１号静清バイパス	⑨	県道静岡清水線
③	国道１号	⑩	県道平山草薙停車場線
④	国道 149 号	⑪	県道静岡草薙清水線
⑤	国道 150 号	⑫	県道駒越富士見線
⑥	静岡清水自転車道線	⑬	市道日本平池田線・清水日本平線

図. 道路網図



凡例			
	日本平公園区域		一般国道
	県立自然公園区域		主要地方道
			一般県道
	高規格道路(東名高速道路)		事業予定地アクセス道(市道)
	地域高規格道路(静清バイパス)		ハイキングコース

資料： 道路交通センサス(静岡市統計資料平成 19 年度版、静岡県/静岡市各ホームページ)

7） 土地利用

計画地及び周辺の土地利用状況は、次図に示すとおりである。

有度丘陵の東斜面（清水区側）は、みかんを主体とする果樹園が大半を占め、その中に山林が散在する。西斜面（駿河区側）は、山麓に学校等の公益施設用地が分布するほか、茶畑が面的に広がり、中腹から山頂にかけてはほとんどが山林となっており東斜面との土地利用の違いが明確である。南斜面は、東照宮の神社用地、大谷地区のゴルフ場、観光施設、及び集落地に接する斜面農地を除き、自然林で構成されている。北斜面は果樹園、山林が混在する土地利用になっている他、一部に住宅団地が分布する。

山頂部は、日本平公園内にホテル等の商業用地とゴルフ場（西側の半分は公園区域外）がみられる。

図. 土地利用現況図


N
W
E
S
凡 例
土地利用
田
畑
山林
水面
自然地
その他の自然的土地利用
住宅用地
商業用地
工業用地
農林漁業用施設用地
公益施設用地
道路用地
交通施設用地
公共空地
その他の公的施設用地
ゴルフ場（その他空地①）
太陽光発電（その他空地②）
平面駐車場（その他空地③）
低未利用地（その他の空地④）
市街化区域界
都市計画区域界
行政区域界
0
0.5
1
2 km

（２）静岡市の観光レクリエーション動向

１） 観光

① 統計

［年間入込客数］

日本平公園の年間入込客数の推移を見ると、2019（令和 1）年度は約 200 万人の利用者があったが、その後のコロナ禍により、一旦落ち込むものの、NHK 大河ドラマ「どうする家康」等の影響により増加等をしながら推移している。

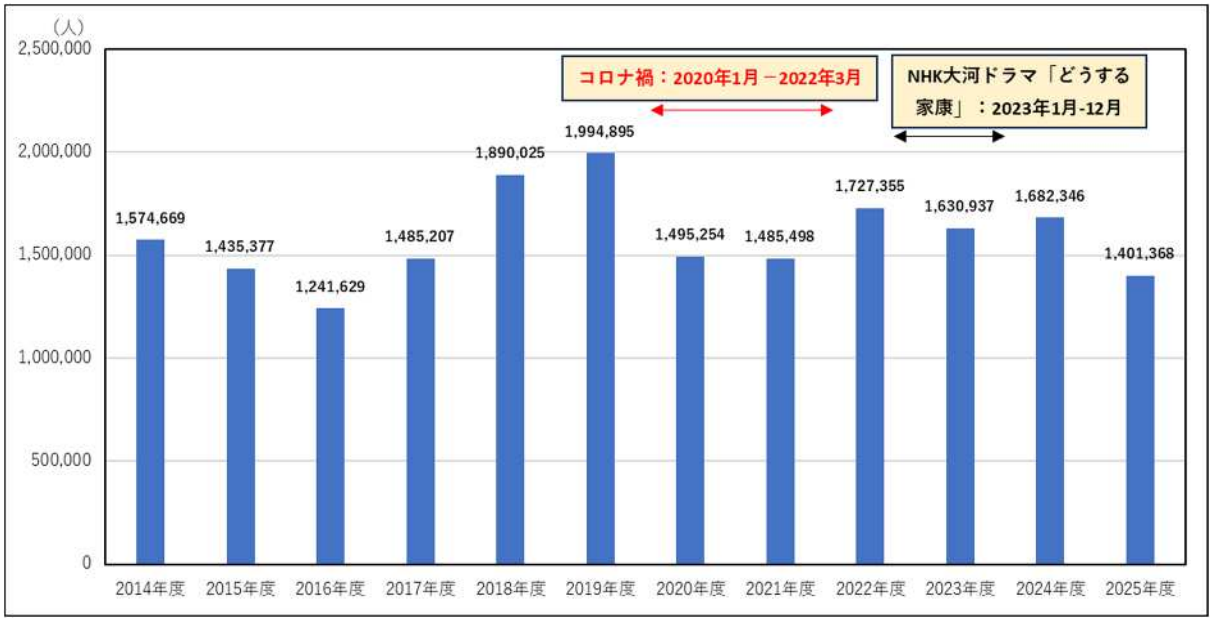


図　年間入込客数の推移

［公園施設利用者］

【推計結果】

・2019（令和 1）年度の年間入込客数を約 200 万人とすると、年間の公園施設利用者は、過年度までの交通量調査から通過交通を約 5 割として、これを除くと約 100 万人となる。位置情報等を用いた結果に近似する。

※年間利用者数の公表値は、200 万人とされ、更に目標値は 220 万人としている。

・年間入込客数は、過年度の交通量調査の車種別台数及び想定乗車人員数から算出しており、約 200 万人（2019（令和 1）年時点）である。この数値は公園入園者数であり、本公園利用者の公表値となっている。

・2024（令和 6）年 3 月 2 日（調査時間：9:00-17:00）に実施した交通量調査結果から頂上付近の主要 4 交差点での通過交通率は 43.8%であることが分かっている。

・日本平夢テラス周辺でのスマートフォンの位置情報等を用いた年間利用者数（滞在者数）は、約 100 万人であると想定される。

・以上のことから、過年度の交通量の約半数を通過交通と仮定すると、年間利用者数は、過年度交通量調査からの約 200 万人の半数に当たる約 100 万人が通過交通量を除いた利用者数と考えるのが妥当であると思われる。

【補足資料：位置情報等を用いた年間利用者数】

・位置情報等による日本平夢テラス周辺での年間利用者数（滞在者数）は、年間約 100 万人（94.5 万人）である。

・「Datakt（静岡市位置情報データ）」による集計方法は、位置情報データと携帯電話のキャリアデータから抽出された拡大率を用いて年間利用者数（滞在者数）を想定する方法である。

・位置情報データは、携帯電話のキャリアデータも利用しており、その抽出日数等の抽出方法が一律ではないため、日本平夢テラスの入館者数を加味しながら年間利用者を集計した。なお、12 月の日本平夢テラスの入館者数は、過年度同時期と比べ、極端に少なく測定されているため、11 月と 1 月の入館者数の中間値を想定値として用いた。

・具体的な方法として、「Datakt（静岡市位置情報データ）」の測点は「日本平夢テラス」を用いた。この測点は、2023（令和 5）年 6 月 29 日（木）から運用されおり、通常の 4 月から始まる年度集計をする場合、3 月～6 月のデータがない。合わせて、7 月末までは属性分析の欠損、12 月の異常値等があるなどの課題が存在している。そのため、この間拡大率の想定を行った。（想定した拡大率は、測定可能な月の平均値を用いた。）

・測点の観測範囲は、半径 80m の範囲であり、日本平ロープウェイ及び県営駐車場は測定範囲内となっている。

・以上の条件により、2023（令和 5）年度の日本平夢テラス周辺での年間利用者数（滞在者数）を集計した結果、年間約 100 万人（集計上、94.5 万人）が利用していることが分かった。

※なお、今回は各種想定値を用いているが、今後、データの更新により、精度の向上が図れるものと考える。

表　位置情報等を用いた年間利用者数（2023（令和 5）年度）

	来館者数	拡大利用者数	拡大率（拡大利用者数/来館者数）	想定拡大率	想定利用者数	備考
	県資料より	位置情報より				
4月	45,167			1.72	77,687	拡大利用者数なし。
5月	58,229			1.72	100,154	拡大利用者数なし。
6月	30,848			1.72	53,059	拡大利用者数なし。
7月	38,666			1.72	66,506	拡大利用者数なし。
8月	39,206	58,722	1.50	1.50	58,722	
9月	41,413	82,127	1.98	1.98	82,127	
10月	50,606	90,480	1.79	1.79	90,480	
11月	54,186	105,889	1.95	1.95	105,889	
12月	50,294			1.72	86,506	
1月	46,402	75,516	1.63	1.63	75,516	
2月	36,042	53,301	1.48	1.48	53,301	
3月	55,241	95,350	1.73	1.73	95,350	
計	546,300	561,385	1.03	0.00	945,295	

［その他］

【国内観光の動向】

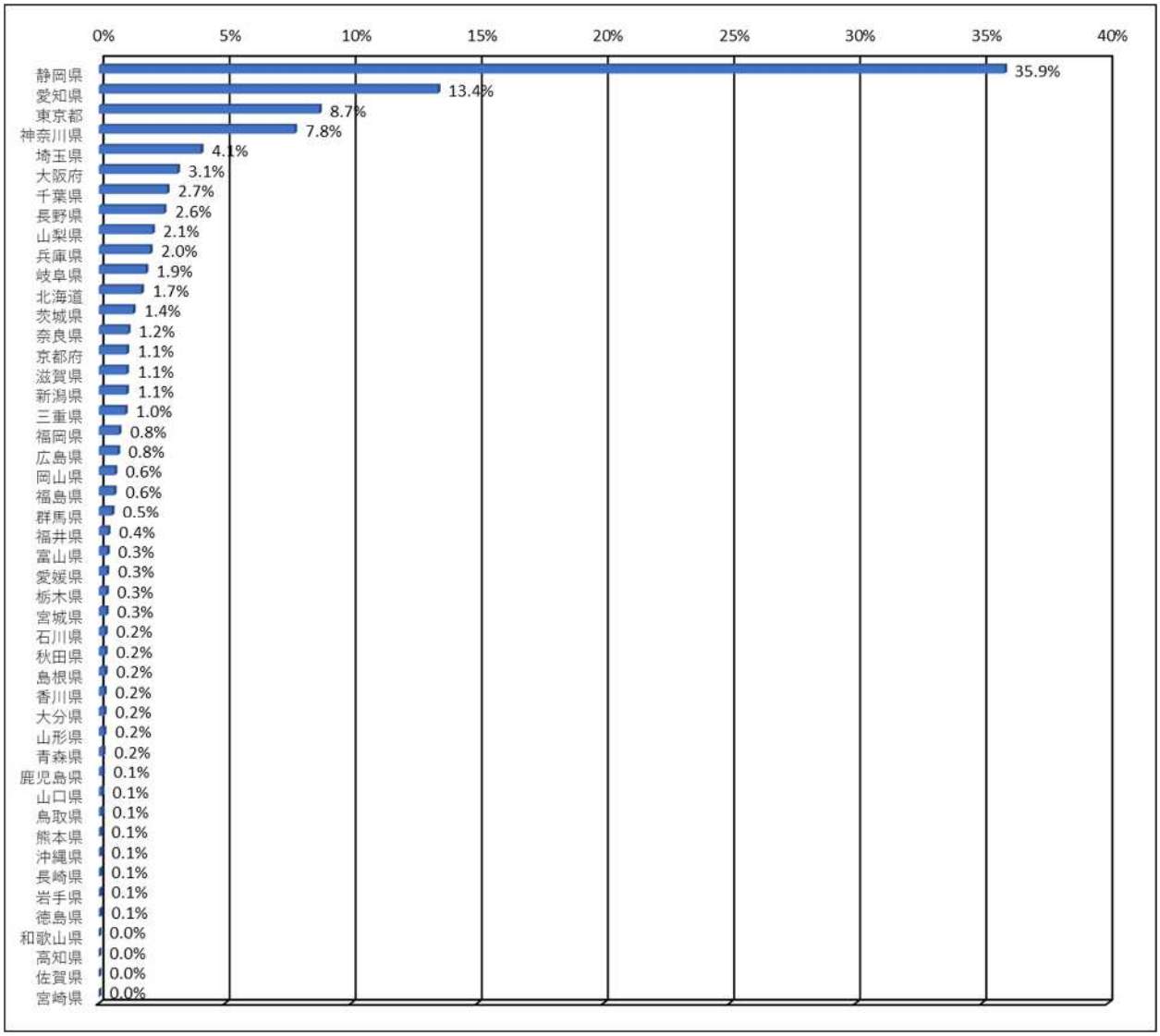
・県内からの利用が 3 割以上を占めており、日帰りレジャーとしての利用が考えられる。
・県外では、首都圏、中京圏等の近隣大都市圏からの利用が多くなっている。
・県内では、本市内からの利用が最も多く、日常生活圏での利用が想定される。

○都道府県

・日本平夢テラス周辺における「Datakt（静岡市位置情報データ）」を用いた日本人利用者の居住地割合（2023（令和 5）年度）について整理すると、県内からの利用が最も多く、35.9%を占めている。

・次いで、大きく間を開けて隣接の「愛知県」が 13.4%、「東京都」が 8.7%、「神奈川県」7.8%、「埼玉県」4.1%、「大阪府」3.1%、「千葉県」2.7%等の順番になっている。

・特徴として、首都圏、中京圏等の近隣大都市圏からの利用が多い傾向となっている。また、静岡県内からの利用が非常に多いことから、自家用車を用いた比較的近隣の日帰りレジャー施設として認知されていると考えられる。



出典：Datakt（静岡市位置情報データ）

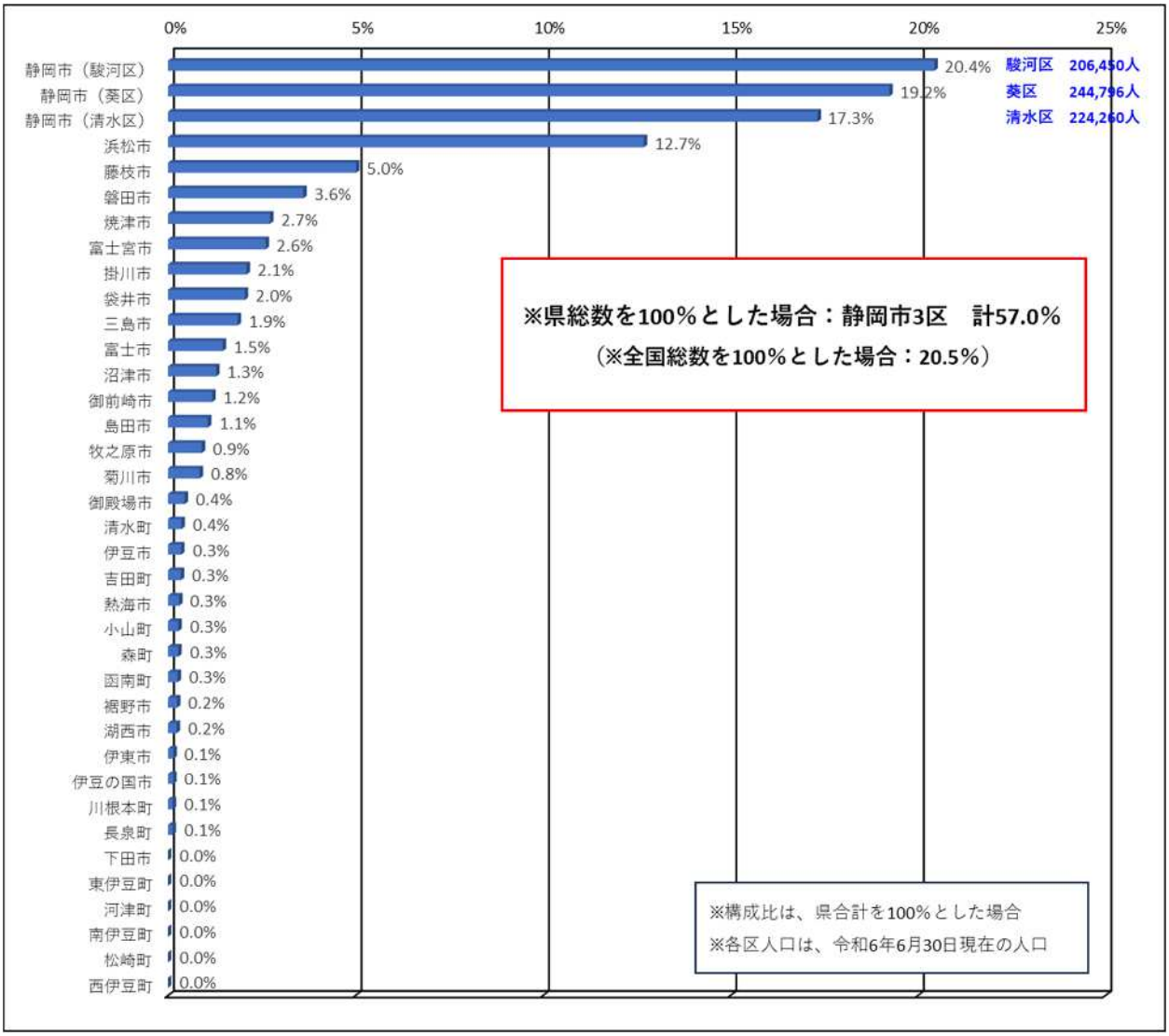
図　日本平夢テラス周辺における利用者の国内居住地の状況（2023（令和 5）年度・都道府県）

○本市及び県内市外

・同様に位置情報データを用いて、静岡県内からの利用について見ると、静岡市内からの利用が最も多くなっており、県内全利用を 100%とした場合、区別では「駿河区」20.4%、「葵区」19.2%、「清水区」17.3%の順となっている。（静岡市全体では、57.0%である。）（なお、全国を 100%とした場合には、本市が 20.5%を占めている。）

・県内他自治体からの利用を見ると、政令指定都市である「浜松市」が 12.7%と多くなっている。

・県内利用の特徴は、本市や浜松市等の人口規模が大きい自治体からの利用の他に隣接等の近隣自治体からの利用が若干見られ傾向である。また、伊豆半島方面の自治体からの利用は極端に少なくなっている。さらに、本市内からの利用が非常に多いことから、日常生活圏でのレジャー施設として利用されていると考えられる。



出典：Datakt（静岡市位置情報データ）

図　日本平夢テラス周辺における利用者の国内居住地の状況（2023（令和 5）年度・本市及び県内市外）

【日本平夢テラスの利用状況】

・夢テラスには、年間約 53 万人が来館している。
・利用者数を季節別に見ると「春」と「秋」が多く 15～16 万人程度の利用である。また、「冬」と「夏」10～11 万人程度に落ち込んでいる。
・平休日比では、「休日」が「平日」の 2 倍以上の差を付けて多くなっている。

・夢テラスには、年間約 52.5 万人が来館している。
・季節別では、「春」と「秋」がほぼ同数（春：約 15.8 万人、秋：約 14.6 万人）である。あとは、「冬」に約 11.1 万人、「夏」に約 10.8 万人が来館している。
・平均利用者数を平休日別に見ると、全般的に「休日」利用者数が多くなっている。平休日比は、2 倍以上の差を付けて「休日」利用者数が多い傾向である。
・季節別の平休日利用状況を見ると「春」と「秋」が同程度（春：約 2,820 人、秋 2601.7 人）である。

表　夢テラス月別平休日別利用者数

季節	月	平休日別平均利用者数			月間利用者数			営業日数		
		平日	休日	計	平日	休日	計	平日	休日	計
春	4月	1,030.2	2,559.3	1,557.5	19,574	25,593	45,167	19	10	29
	5月	1,282.5	3,078.3	1,941.0	24,368	33,861	58,229	19	11	30
夏	6月	833.4	1,906.6	1,101.7	17,502	13,346	30,848	21	7	28
	7月	732.4	2,250.0	1,288.9	13,916	24,750	38,666	19	11	30
	8月	852.6	2,366.9	1,306.9	17,904	21,302	39,206	21	9	30
秋	9月	922.3	2,389.0	1,428.0	17,523	23,890	41,413	19	10	29
	10月	1,354.0	2,463.7	1,686.9	28,433	22,173	50,606	21	9	30
	11月	1,305.3	2,938.5	1,868.5	24,801	29,385	54,186	19	10	29
冬	12月	991.5	1,684.6	1,222.5	15,864	13,477	29,341	16	8	24
	1月	1,147.4	2,345.4	1,546.7	22,948	23,454	46,402	20	10	30
	2月	762.5	2,231.7	1,287.2	13,725	22,317	36,042	18	10	28
春	3月	1,286.7	2,799.4	1,841.4	24,448	30,793	55,241	19	11	30
計		1,043.3	2,451.2	1,514.0	241,006	284,341	525,347	231	116	347

表　夢テラス季節別平休日別利用者数

季節	平休日別平均利用者数			利用者数			利用者数（構成比）		
	平日	休日	計	平日	休日	計	平日	休日	計
春	1,199.8	2,820.2	1,782.4	68,390	90,247	158,637	43.1%	56.9%	100%
夏	808.6	2,199.9	1,235.5	49,322	59,398	108,720	45.4%	54.6%	100%
秋	1,199.3	2,601.7	1,661.4	70,757	75,448	146,205	48.4%	51.6%	100%
冬	972.9	2,116.0	1,363.2	52,537	59,248	111,785	47.0%	53.0%	100%
計	1,043.3	2,451.2	1,514.0	241,006	284,341	525,347	45.9%	54.1%	100%

・参考として、多かった上位 20 位までの日付は下記の通りである。1-3 位に春の大型連休が確認されている。また、4 位には、元日が入っており、初日の出や初詣目的での利用が見られている。

表　夢テラス来館者数の日別上位 20 位（参考）

順位	日付・曜日		来館者数	順位	日付・曜日		来館者数
1	R5.05.04	木	6,797	11	R5.09.17	日	3,610
2	R5.05.03	水	5,778	12	R5.11.19	日	3,497
3	R5.05.05	金	5,331	13	R5.12.09	土	3,489
4	R6.03.30	土	4,621	14	R5.08.12	土	3,486
5	R6.01.01	月	4,414	15	R6.02.11	日	3,428
6	R6.02.24	土	4,264	16	R6.03.09	土	3,411
7	R5.05.27	土	4,229	17	R6.01.07	日	3,395
8	R5.04.01	土	4,138	18	R5.04.02	日	3,381
9	R5.10.28	土	3,748	19	R5.10.21	土	3,343
10	R6.03.31	日	3,663	20	R5.04.09	日	3,282

【園内移動カートの利用状況】

・1 年間で、約 1.5 万人が利用している。月別では 11 月に約 2,000 人が利用している。
・春の「休日」94.8 人/日が多くなっている。

・2025（令和 7）年 7 月末までの 1 年間で、約 1.5 万人が利用している。
・月別の利用状況を見ると 11 月に 2,005 人/月で最も多くなっている。
・次いで平休日別に見ると 11 月の「平日」に 1,127 人/月が利用している。
・季節別に平休日別の平均利用者数を見ると、春の「休日」94.8 人/日である。また、秋・冬の「休日」もそれぞれ 70 人/日を越える利用がされている。

表　電動カート月別平休日別利用者数　2024～2025（令和 6～7）年

季節	月	平休日別平均利用者数			月間利用者数			営業日数		
		平日	休日	計	平日	休日	計	平日	休日	計
夏	8月	25.5	43.2	30.3	408	259	667	16	6	22
秋	9月	27.1	51.2	35.7	488	512	1,000	18	10	28
	10月	44.5	70.3	52.2	934	633	1,567	21	9	30
	11月	56.4	97.6	69.1	1,127	878	2,005	20	9	29
冬	12月	34.7	75.4	48.3	555	603	1,158	16	8	24
	1月	41.5	76.5	55.5	747	918	1,665	18	12	30
	2月	38.0	72.0	50.1	684	720	1,404	18	10	28
春	3月	42.7	89.7	57.5	555	538	1,093	13	6	19
	4月	77.7	91.0	84.3	233	273	506	3	3	6
	5月	42.2	99.1	61.2	844	991	1,835	20	10	30
夏	6月	49.3	68.9	56.0	936	689	1,625	19	10	29
	7月	38.4	65.6	45.6	844	525	1,369	22	8	30
計		42.3	76.6	53.8	7,947	7,280	15,227	188	95	283

表　電動カート季節別平休日別利用者数　2024～2025（令和 6～7）年

季節	平休日別平均利用者数			月間利用者数			営業日数		
	平日	休日	計	平日	休日	計	平日	休日	計
春	45.3	94.8	62.4	1,632	1,802	3,434	36	19	55
夏	38.4	61.4	45.2	2,188	1,473	3,661	57	24	81
秋	43.2	72.3	52.6	2,549	2,023	4,572	59	28	87
冬	38.2	74.7	51.5	1,986	2,241	4,227	52	30	82
計	42.0	78.8	54.6	6,167	6,066	12,233	147	77	224

【日本平ロープウェイの利用状況】

・日本平ロープウェイ駅の利用者数は、2023（令和 5）年度に約 90 万人である。
・11 月や 5 月の比較的過ごしやすい時期の大型連休のある月は、約 9 万人の利用がある。

・年間を通じて、日本平ロープウェイ駅の利用者数を確認すると、2023（令和 5）年度は 901,299 人である。その内訳は、一般が 75.2%（678,024 人）、団体が 24.8%（223,275 人）であることから、利用者のほとんどが、一般利用であることが分かる。

・月別に見ると、11 月（100,855 人）、5 月（92,100 人）、10 月（91,678 人）で多くなっており、比較的過ごしやすい時期の連休であることが影響していると考えられる。また、2 月（52,242 人）、12 月（58,786 人）では利用者が減少しており、冬季における公園利用の特徴が見られている。なお、1 月（79,714 人）は前後の 12 月・2 月より多くなっているのは、久能山東照宮への初詣や初日の出等の特異的な利用であると考えられる。7 月（57,193 人）、8 月（64,229 人）の利用が低調なのは、近年の猛暑による影響であると考えられる。

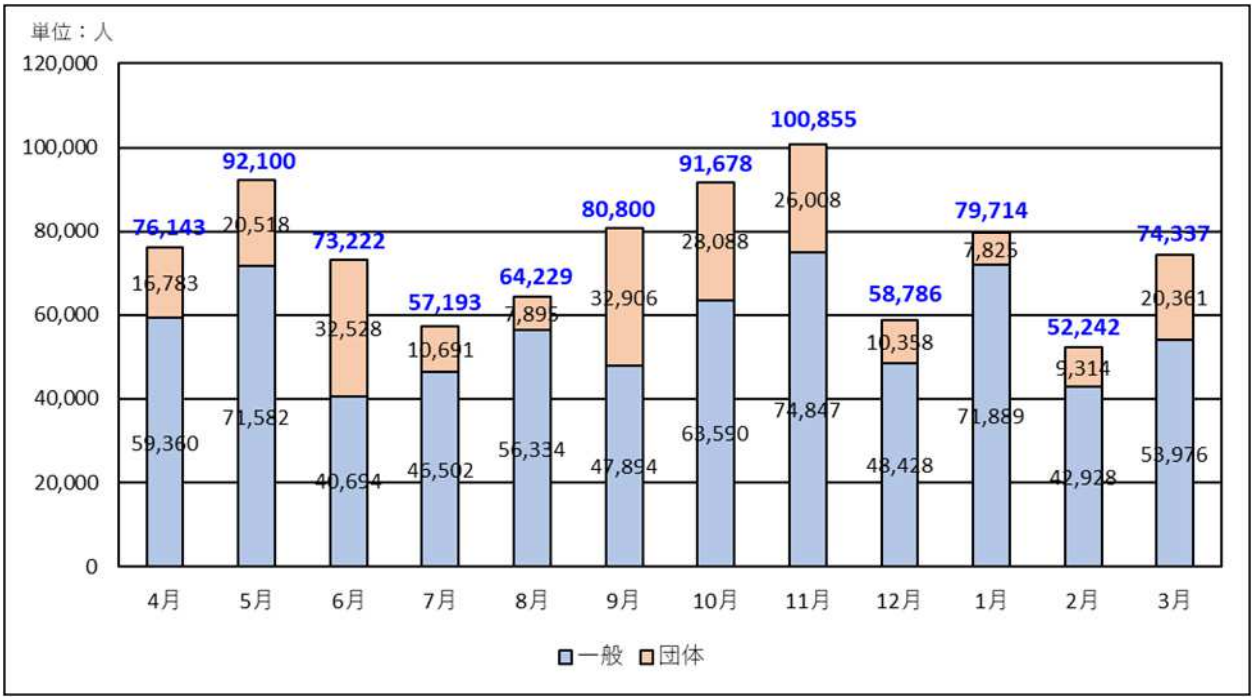


図　日本平ロープウェイ輸送人員数（2023（令和 5）年度）

② 動向

山頂部における大規模なイベントとしては、「日本平まつり」がある。利用者が多くバスアンドライド等の交通規制が行われている。

本公園は、人気ドラマ等でゆかりのある人物や場所（ロケ地も含む）として、注目を集めることがある。NHK 大河ドラマ「どうする家康」放映時には、久能山東照宮への利用者が多くなるなどの社会的現象が見られている。その後の大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」でも本市にゆかりの「十返舎一九」が登場しており、それらを契機としたプロモーションが行われている。

清水港の整備や寄港活動により、海外からの大型クルーズ船の寄港が増加しており、それに合わせた寄港地ツアーの取り組みが活発に行われている。（詳しくは後述の「インバウンド」参照）

本公園の利用者の目的の多くは、景色や景観を楽しむことである。近年では、本公園からの夜景のきれいさをアピールする取り組みも行われている。

周辺を含めたアクティブな側面では、「静岡マラソン」や「日本平ウォーク」などが行われ、多くの参加者により開催されている。一方で、日本平の近傍では、「庵原ユニバーサルスポーツ拠点」の整備が進められるなど、日本平周辺及び近傍におけるスポーツの場としての豊かな機能が見られている。

文化的な側面では、日本平においてアニメとのコラボレーション等の活動も散見されている。

以下に、委員会内で紹介された内容を整理（報告された当時を元に構成）している。なお、カッコ内の回数は、当委員会内で報告された開催回である。（以下、同様）

第 39 回　日本平まつり開催（第 2 回・第 3 回）

日時：2024（令和 6）年 7 月 24 日（木）

場所：日本平ホテル芝生広場

・ほぼ真上に打ち上がる花火が約 12,000 発で、打ち上げ間隔が短く、臨場感あふれる花火×照明×音楽の壮大な花火ショーを開催。来場者数は 28,000 人であった。

・会場までの交通は、当日の混雑を予測し、静岡・清水の両パークウェイをはじめ、日本平山頂に通ずる全ての道で交通規制を実施した。16:00 以降、通行止となり、公共の交通機関（有料シャトルバス・タクシー）の利用が求められた。

・有料シャトルバスは、東静岡駅南口からピストン輸送とし、料金は、大人片道 800 円/人、小児片道 400 円/人で、デジタルチケットにて発売した。（実績：往路・復路ともに 126 便運行　　往路 5,979 人　復路 6,090 人）

2025（令和 7）年 NHK 大河ドラマで本市ゆかりの「十返舎一九」登場（第 2 回）

日時：2025（令和 7）年度

場所：市内

・2020（令和 2）年度に本市と関係のある「日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅～滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック（道中記）～」が「日本遺産（Japan Heritage）」の認定を受けた。

※日本遺産（Japan Heritage）：地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活

性化を図る。

・上記の元となった「東海道中膝栗毛」の作者で本市ゆかりの「十返舎一九」が 2025（令和 7）年度 NHK 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」での登場しており、2023（令和 5）年度の NHK 大河ドラマ「どうする家康」と同様に様々なプロモーション展開が進められた。

清水港寄港クルーズ船大幅増-来年度（2025（令和 7）年度）100 隻超見込み（第 3 回）

日時：2024（令和 6）年 10 月 3 日（金）

場所：清水港

・10 月 3 日の市議会観光文化経済委員会で、清水港への寄港について、来年度は 100 隻を超える予約が入っていることが報告され、新型コロナ・ウイルス禍以降に大幅な増加が続く傾向となっている。

・昨年度 68 隻（乗客 66,246 人）の寄港を記録し、過去最高だった 2017（平成 29）年度の 42 隻を大きく上回った。なお、2024（令和 6）年度は 89 隻を見込んでいる。

・増加の背景には、清水港客船誘致委員会による誘致活動、歓迎事業等とともに、富士山が見える景色や三保松原、日本平、久能山東照宮といった周辺の観光資源が評価され、インバウンド需要が増えていることが追い風になっていると考えられる。

久能山東照宮の夜間特別拝観「光彩-IRODORI-」の実施（ライトアップ）（第 5 回）

日時：2025（令和 7）年 9 月 23 日（火）

場所：久能山東照宮

・久能山東照宮で夜間特別拝観「光彩-IRODORI-」（主催：久能山東照宮・静岡鉄道　共催：静岡新聞社・静岡放送）が 9 月 23 日から始まった。今年で 6 回目となるが、今回は「折り紙」をテーマにしたライトアップを行う。12 月 7 日までの開催で、時間は 18 時から 21 時（最終入場は 20 時）である。

・毎年好評の夜間特別拝観イベントを刷新し、普段は立ち入ることのできない夜間の特別拝観とアーティスト「YouRuMaru」（ユルマル）による折り紙をテーマにした手作りした繊細な色合いの優美なライトアップで、日常を忘れさせる輝きの中、歴史と現代アートが融合した幻想的な空間が楽しめる。



日本平のナイトツーリズム（第 2 回）

日時：適宜実施

場所：日本平公園

・日本平夜市との連携事業は、2020（令和 2）年から年 1 から 2 回実施している。

・日本平夜市シャトルバスは 2022（令和 4）年から実施している。

・2022（令和 4）年に、ホビーショー（業者招待日）に参加された方を対象に夜景観賞バスツアーを実施した。（参加費：無料）

・2023（令和 5）年にも、同様のツアーを委託業務で実施した。（参加費：有料）

徳川家康公顕彰プロジェクト　静岡マラソン（Shizuoka Marathon）の開催（第 2 回）

日時：例年 3 月の第 2 週の日曜日

場所：市内（清水バイパスや IAI スタジアム日本平周辺等）

・例年、3 月第 2 週の日曜日に開催している。開催種目はフルマラソン（42.195km・定員 12,000 人）、ファンラン（11.6Km・定員 1,200 人）。※雨天決行。

・日本平周辺では海岸沿いを走行する。大会当日は、会場やコース周辺では朝から交通規制が実施された。日本平公園周辺では、清水バイパスや IAI スタジアム日本平周辺で実施された。



図　静岡マラソンコース（2024 年版）

「～霊峰富士を仰ぐ～ 日本平ウォーク」の開催（第 3 回）
日時：例年 2 月中旬の日曜日
場所：日本平周辺

・富士山がもっとも美しく見える季節に世界文化遺産「富士山」を望む景勝地･日本平を中心に、静岡市内の名所･旧跡の観光ガイドも楽しめるウォーキングイベントを開催している。
・開催日：2 月中旬の日曜日　※雨天決行
・スタート･ゴール：草薙総合運動場～エスパルスドリームプラザ
・「ベーシックコース」（13km）と「チャレンジコース」（18km）を設定。
［ベーシックコース］：定員 1300人、参加費（大人）2,100 円
［チャレンジコース］：定員 200人、参加費（大人）2,500 円



図　ウォーキングコース（2025（令和 7）年版）

庵原ユニバーサルスポーツ拠点の聖地化へ事業加速（第 5 回）

日時：2026（令和 8）年 2 月 18 日（水）

場所：庵原地区

・静岡市は 2026（令和 8）年度に清水区庵原地区での「ユニバーサルスポーツ聖地化」事業を本格化させる。

・ちゅーるスタジアム清水敷地内の屋内運動場などの施設整備に加え、市内のパラスポーツを取りまとめる組織の活動を支援する。

・同地区では、2024（令和 6）年に産業用ロボットメーカーによる「IAI パラスポーツパーク」をオープンしている。また、近隣の清水ナショナルトレーニングセンターでは車イスバスケットボールの日本代表が合宿を行うなど、地域とパラスポーツの親和性は高い特性がある。

アニメ「ヒロアカ」コラボ（第 5 回）

日時：2025（令和 7）年 9 月 21 日（日）

場所：市内（日本平ロープウェイ他）

・静岡鉄道としずてつジャストラインは、10 月から放送開始のテレビアニメ「僕のヒーローアカデミア」（ヒロアカ）の最終期に合わせたコラボレーション企画を始めた。

・12 月 20 日までの期間に鉄道やバスに作品の世界観をイメージしたラッピング車両の導入や回遊施策を実施し沿線地域の活性化を図る。

・日本平ロープウェイでは、ゴンドラや施設内の階段、乗車券を特別デザインにする。

・呉服町商店街など市内 4 箇所にフォトスポットを設ける。また、音声 AR アプリと連動して、キャラクターが街の見どころを紹介する「僕の静岡まちめぐり」も展開し、市内全域への周遊も促すことで、滞在時間を増やし、賑わいの創出につなげたい意向である。

「新幹線から見える」ガンダム等身大立像を静岡市長が誘致意欲（第 4 回）

日時：2025（令和 7）年 2 月 21 日（金）

場所：東静岡地区

・「バンダイスピリッツ」が運営する「ガンプラ」を生産する新しい工場が、葵区長沼で稼働している。本市は工場稼働に合わせて、観光誘致などを狙い「バンダイスピリッツ」に、等身大ガンダムを設置するよう働きかける意向を表明した。

・市長は「新工場が稼働を開始する東静岡に置いていただけるといい。新幹線からも見えて効果がある」と述べている。

・なお、設置にかかる費用を市が負担する考えはないとの見解を示しているが、誘客などに向けて支援していきたい方針である。

・2017（平成 29）年 7 月から 8 カ月間開催された静岡ホビーフェアで、ＪＲ東静岡駅の北口に等身大ガンダムが設置された際は、およそ 160 万人が訪れ、経済波及効果は 489 億円だった。

2）インバウンド

① 統計

［クルーズ船：清水港入港客船（トン数）等の推移］

・トン数、船数ともに新型コロナ・ウイルスの影響で一時的に落ち込んだが、近年では回復に向かっている。

・清水港での寄港地ツアーは、三保松原や久能山東照宮など日本平周辺等への人気が高い。

・2016（平成 28）年度まで客船の寄港は、十数隻であったが、2017（平成 29）年 1 月に国土交通省より「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾への選定、同年 7 月に国土交通省より「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されたことで、積極的にクルーズ船の寄港運動を展開した結果、外国客船の期間限定の定期運航がきっかけとなり、2017（平成 29）年度には 41 隻、総トン数も 272 万トンへと飛躍することができた。

・2018（平成 30）年度、令和元年度と 200 万トンを超えて推移していたが、2020（令和 2）年度から 2022（令和 4）年度の間は新型コロナ・ウイルスの影響でわずかな国内船が寄港する程度になった。

・2023（令和 5）年 5 月 8 日の「5 類感染症」への移行により再び外国客船を含めた寄港が活発になっており、2024（令和 6）年 5 月末の段階で、予約を含めて 40 隻 136 万トンまで回復してきている。

表　清水港入港客船（トン数）の推移

年度	トン数		延べ船数			備考
	総トン数	平均トン数		外国客船	邦船	
平成27年度	849,097	65,315	13	8	5	
平成28年度	978,753	57,574	17	11	6	■国土交通省より「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定 【平成29年1月】 ・清水港日の出地区岸壁改良工事（2016（H28）-2022（R4））（老朽化対策・大型クルーズ船対応）
平成29年度	2,723,789	66,434	41	30	11	■ 国土交通省より 「国際旅客船拠点形成港湾」に指定【平成29年7月26日】 ・7月-11月の期間限定でスタークルーズ（スーパースターヴァーゴ）の定期運航実施。
平成30年度	2,082,589	67,180	31	26	5	
令和元年度	2,091,653	56,531	37	28	9	■開港120周年（清水港客船誘致委員会より） ・12月15日以降、寄港キャンセル発生 ※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）：12月初旬に、 中国の武漢市で第1例目の感染者が報告。
令和2年度	245,342	35,049	7	0	7	
令和3年度	409,524	34,127	12	0	12	
令和4年度	95,388	5,611	17	6	11	
令和5年度	762,221	11,209	68	61	7	※5月8日から「5類感染症」に移行。
令和6年度	1,362,385	34,060	40	39	1	※令和6年度は5/28現在の岸壁の予約状況（7/31まで記載）

出典：清水港客船誘致委員会（http://www.shimizu-port.jp/shipinfo.html#PastSchedule）

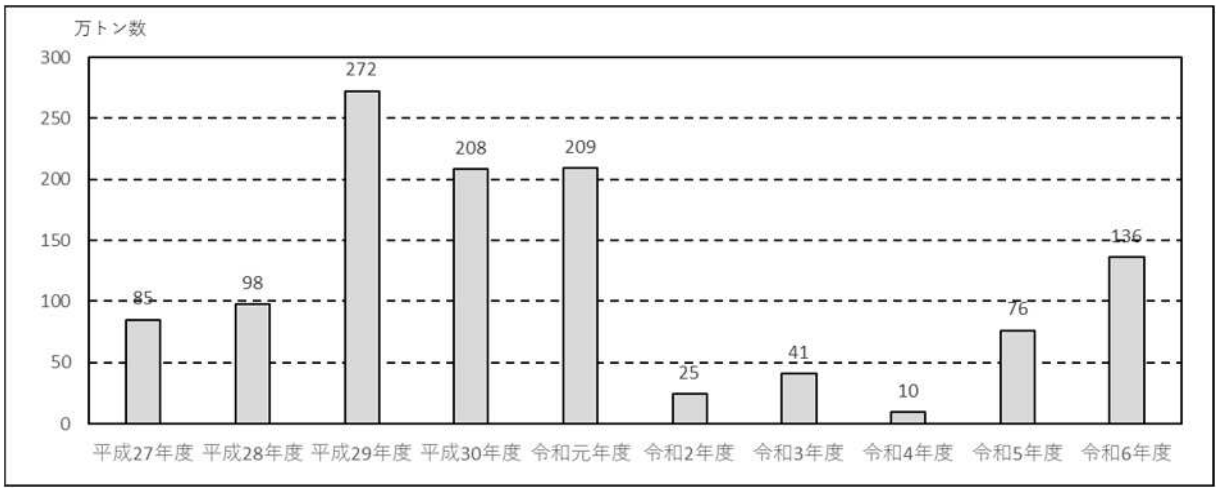
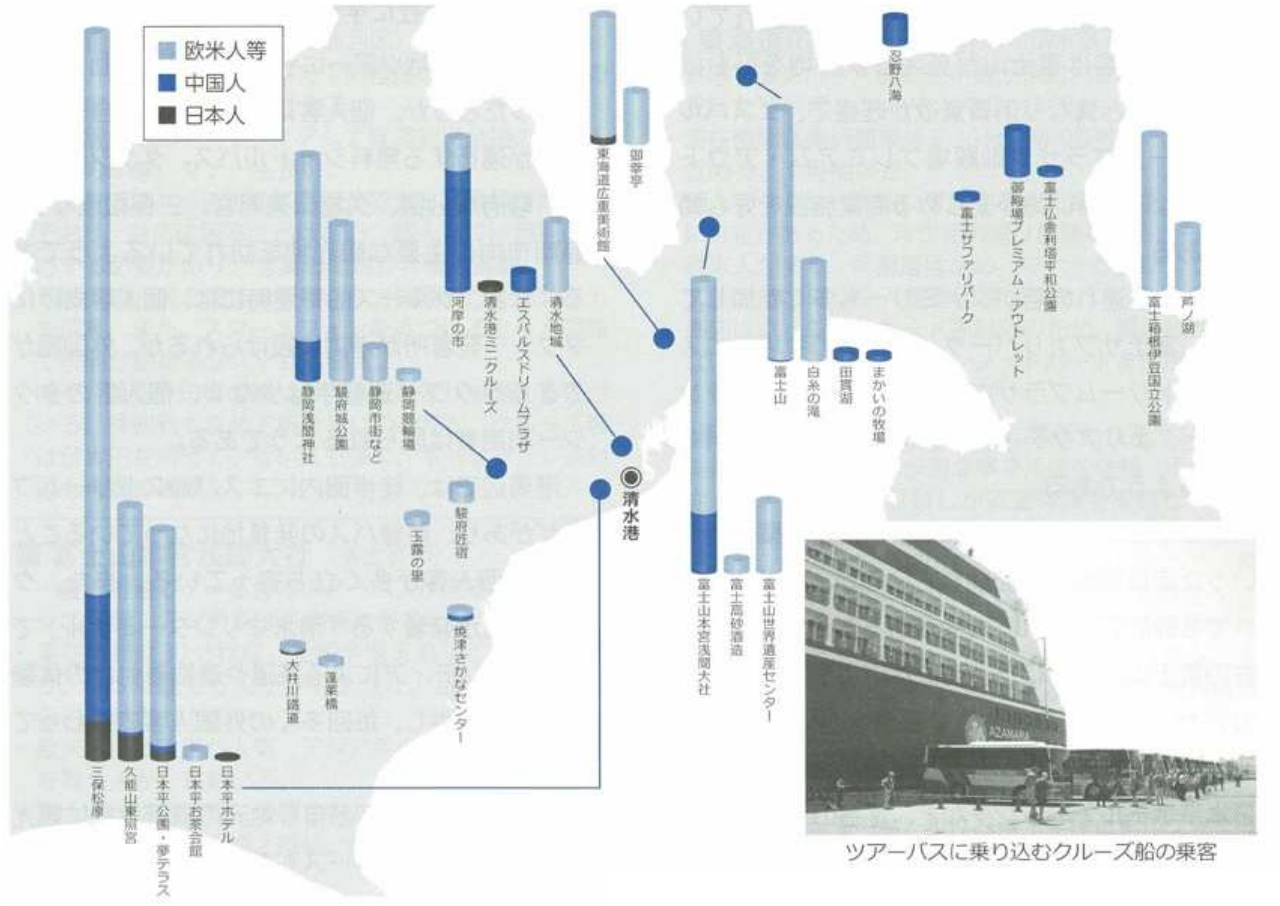


図　清水港入港客船（トン数）の推移

・寄港地ツアーは、一般的に片道 90 分が上限と言われており、清水港の場合、ほぼ片道 1 時間程度で行ける範囲に日本平公園や久能山東照宮が入っている。
・クルーズ客が多く訪れているのは、富士山本宮浅間大社や富士山二合目などの富士山周辺地域、三保松原や久能山東照宮など日本平周辺、静岡市中心部の静岡浅間神社や駿府城公園となっている。



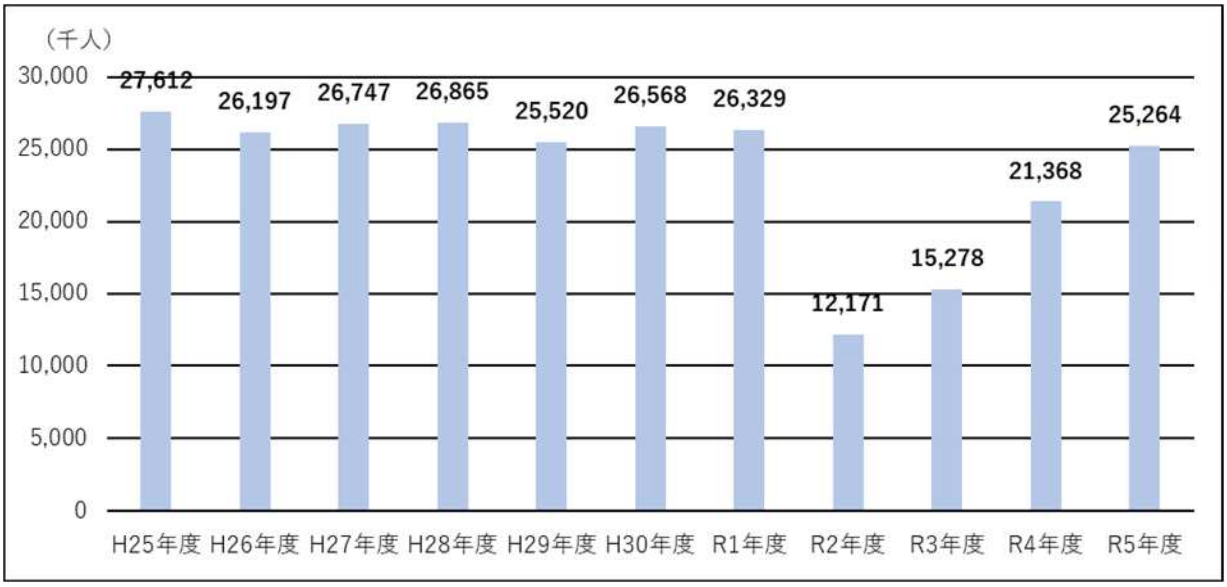
出典：調査「クルーズ船の寄港状況と地域振興」（一般社団法人　静岡経済研究所）
オリジナル：清水港客船誘致委員会（事務局　静岡市）

図　清水港クルーズ船の「寄港地ツアーバス」の主な訪問先

［訪日外国人：本市への海外旅行者の状況］

・インバウンド需要は約 3%である。
・外国人旅行客は、中国、韓国等のアジア近隣諸国からが多い傾向である。

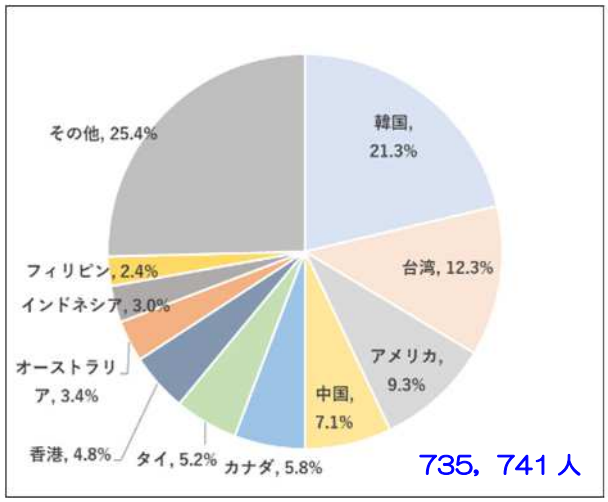
・本市へ来訪する観光客は、コロナ禍前まで 2.6～2.7 万人で推移していたが、コロナ禍の影響により、2020（令和 2）年にはそれまでの半分にも満たない 1.2 万人まで落ち込んだものの、徐々に回復しており、2023（令和 5）年度には 2.5 万人に達している。



出典：静岡市観光基本計画（素案）

図　本市への観光交流客数（インバウンド）

・また、本市への外国人の来訪は、2023（令和 5）年 1 月～11 月までの間で 73.5 万人と推計されている。インバウンド需要は、約 3%と推計される。
・外国人の国別利用状況を整理すると「韓国」が 21.3%、次いで「台湾」12.3%、「アメリカ」9.3%、「中国」7.1%であり、比較的アジア近隣諸国からの利用が多い傾向である。



出典：静岡市観光基本計画（素案）（おおもと Datakt（静岡市位置情報データ））

図　本市への外国人旅行客数（宿泊含む）（2023（令和 5）年 1 月～11 月）

② 動向

清水港の整備により、大型クルーズ船の 2 隻同時接岸が可能になっている。合わせてツアー会社への寄港誘致活動の展開により、年々寄港するクルーズ船が多くなっている傾向である。それに伴い、多くの寄港地ツアーが設定されており、日本平公園や久能山東照宮を含むツアーの利用も多く見られている。

今後は、ITC の進捗により、MaaS（Mobility as a Service）の利用が活発になることが考えられることから、クルーズ船客以外の新幹線や空港から本公園への二次アクセスについての動向が注視されるところである。

令和 6 年度清水港貝島地区土地利活用手法調査の推進（第 3 回）

日時：2024（令和 6）年度

場所：清水港貝島地区

・清水港貝島地区では、静岡県が清水港港湾計画（2021（令和 3）年 3月）に基づき、海洋研究・開発拠点化に向け、埋立事業や岸壁整備を進めており、2028（令和 10）年度を目途に第 1 期埋立竣工エリア（約 7.8ha）などの利用が可能となる予定である。

・本調査では、当地区に係る上位・関連計画、周辺施設の関連データや中部電力(株)所有地の土壌等の状況を調査するなど、現況や法規制等の与条件を整理し、今後の土地利活用に必要な基盤整備手法の検討、整備にかかる概算費用の算出などを実施し、貝島地区ビジョンとして取りまとめる。

「令和 6 年度 特定港湾施設整備事業基本計画」が閣議決定（清水港）（第 2 回）

日時：2024（令和 6）年 7 月 19 日（金）

場所：清水港

・港湾整備促進法に基づく「令和 6 年度 特定港湾施設整備事業基本計画」（清水港も対象とされている。）について、 閣議決定された。（2024（令和 6）年 7 月 19 日（金））

・本基本計画は、港湾整備促進法に基づき、港湾管理者が行う特定港湾施設整備事業に充てる資金の調達を円滑に行えるようにするため、国土交通大臣が会計年度ごとに、交通政策審議会の議を経て定め、内閣の承認を求める。国土交通大臣は、内閣の承認を得た本基本計画に基づいて資金の融通のあっ旋を行う。

・本計画に清水港は、下記内容が該当している。

・港湾機能施設整備事業：「上屋」、「荷役機械」、「ふ頭用地」

・臨海部土地造成事業：「港湾関連用地等」

クルーズ県内寄港最多更新（第 5 回）

日時：2026（令和 8）年 1 月 3 日（土）

場所：清水港

・2025 年の県内のクルーズ船寄港回数が 108 回で過去最多だった 24（令和 6）年の 91 回を更新した。乗船客数も前年比約 4 万人増の約 17 万人であった。

・清水港は、17（平成 29）年に県が国際旅客船拠点形成計画を策定し、環境改善を進めてきた成果が実り、25 年の寄港回数は 105 回であった。また、25（令和 7）年からは大型客船の 2 隻同

時接岸も可能となった。
・県は現在策定中の次期総合計画内で県内への寄港を 28（令和 10）年に 130 回まで増やす目標とする方針であり、富裕層向けの誘客コンテンツの更なる向上やクルーズ船会社への働きかけを強化することが考えられている。

クイーン・エリザベス寄港　乗客の周辺観光が活発（第 4 回）
日時：2025（令和 7）年 4 月 6 日（日）
場所：清水港

・英国の海運会社が運航する国際クルーズ船「クイーン・エリザベス」(90900 トン) が 4 月 6 日、清水港の日の出埠頭に寄港した。北半球で国際クルーズ観光が旬になる春を迎え、“寄港ラッシュ”が本格化してきた。
・初寄港した昨年に続く入港。下船した乗客はバスやタクシーなどで周辺観光に出かけた。
・全長 294 メートルの大型クルーズ船で清水港には 2024（令和 6）年に続き、3 回目の寄港となる。今回は日本各地と韓国を巡る 10 日間のクルーズで、2000 人あまりが乗船している。
・清水港には客船を見に多くの市民も集まり、運航会社のオリジナルポストカードが配布され、船とともに記念写真を撮っていた。

2025（令和 7）年度寄港予定の船の中で、最大のクルーズ船が初寄港（第 4 回）
日時：2025（令和 7）年 5 月 16 日（金）
場所：清水港

・清水港に今年度寄港予定で最大のクルーズ船が 5 月 16 日に初寄港した。アメリカの船会社が所有する客船「オベーション・オブ・ザ・シーズ」で総トン数 16 万 8666 トン、全長 348 メートル、最大幅 41.2 メートル、乗客定員は 4180 人、乗員は 1500 人とされている。
・静岡市は日の出埠頭の岸壁で式典を行い、乗客を対象に清水港を周遊するスタンプラリーなどを実施した。また、地元有志による「清水クルーズ祭り」を開催し、書道パフォーマンスや居合道の演武、出店などで乗客を楽しませた。

清水港・日の出ふ頭にて大型クルーズ船 2 隻同時接岸　4000 人が来港（第 4 回）
日時：2025（令和 7）年 5 月 25 日（日）
場所：清水港

・清水港日の出埠頭に 5 月 25日、米国の海運会社が運航する国際クルーズ船「セレブリティ・ミレニアム」(9 万 963 トン)、「ノルウェージャン・スピリット」(7 万 5904 トン）が寄港した。
・今回の大型クルーズ船 2 隻同時接岸は、4 月の駿河湾フェリーの乗り場移転により可能となった。同埠頭に大型クルーズ船が 2 隻同時に接岸 2 隻はいずれも全長が 300 メートルに迫り、定員も 2000人/隻を超える。10 月、11月にも同時寄港することになっている。

（３）地域の開発動向

日本平近傍における動向としては、久能山東照宮の海側からの参道周辺に位置する久能山下の駐車場不足や景観等の課題に対して、今後検討する方針が示されている。また、自然公園区域内では、観光地の魅力向上に資する民間事業者からの投資を促すことを視野に入れた自然環境調査を実施している。これらと関連するように、本市全域で、今後の MICE 誘致やインバウンド観光に資する宿泊施設等の誘致可能性に関する調査など、本市における観光振興施策の検討を行っている。

日本平周辺での開発動向としては、日本平久能山スマート IC 整備に伴う周辺面整備事業の進捗により、大型商業施設の立地等が検討されている。また、清水駅前では、再開発事業に伴う面整備事業により、スマートガーデンシティ建設に合わせて新サッカースタジアム整備の検討が進められている。さらに、東静岡では、県外からの多くの集客が見込める多目的アリーナ整備に向けた取組が進められている。清水港周辺では、民間水族館計画の検討及び海洋 DX 先端拠点化の推進における海洋文化施設の充実が進められている。周辺の未来型都市開発として、現在トヨタ自動車等による実証都市「Woven City（ウーブン・シティ）」内（裾野市）において完全自動運転等を踏まえた未来型都市づくりが進められている。

交通関連において、混雑時の道路状況に対応するため、日本平動物園では、例年周辺への交通錯綜を引き起こしている GW 期間の駐車場の利用について、完全予約化と JR 東静岡駅からのバスアンドライドの導入を行っており、これらの対策の結果、周辺道路への渋滞の発生は確認されなかった。地元団体より清水や三保方面から本公園や久能山東照宮における複数の新規アクセスルートや久能山東照宮の整備等に関する要望が出されている。空飛ぶクルマでは、三保飛行場の利活用の方策として、次世代エアモビリティ、空中ドローン等の拠点として整備するための取り組みが進められている。また、電動垂直離着陸機「eVTOL（イーブイトール）」の装用運航に向けた外外国人を対象としたモニターツアーの実施が行われるなど実装化に向けた取組が進められている。ライドシェアでは、清水港でクルーズ船客の寄港時に観光需要の高まりに対応するため、日本版ライドシェアの導入を行っている。自動運転では、清水港周辺で複数年にわたり、クルーズ船客や観光客等の周遊性向上を資するため、自動運転実験・調査の実施等が行われている。

① 日本平近傍の土地利用関連

［久能山下周辺の整備］

久能山下周辺の駐車場等の整備へ（第 5 回）

日時：2025（令和 7）年 2 月 17 日（月）

場所：久能山下地区

・静岡市長は 2 月の市議会において、久能山下周辺の現状視察を踏まえながら、地区のまちづくりに「本気で取り組む」と表明した。

・具体的には、周辺の駐車場確保や歩行環境の整備など、アクセス等の機能強化に取り組む方針が明らかにされた。

・駐車場は、これまで民間のみで駐車場容量不足が課題であった。そのため、市が主体となって新たな駐車スペースを確保する検討が始まっている。また、表参道の石段へのアクセスを改善することも検討される見通しである。

日本平での自然環境調査の実施（第 3 回）

日時：2024（令和 6）年 12 月 4 日（水）

場所：日本平周辺

・調査対象は、富士山や清水港を望む部分であり、観光地としての魅力を高めるため、民間事業者の投資を促すことも視野に入れながら、自然に配慮した開発を促すことも想定し調査を行う。

・希少動植物や猛禽類オオタカやサシバ等の生息・生育調査、交通騒音や振動などの生活環境調査に 2 年かけて取り組み、市により現況調査を整理しておくことで、民間事業者の速やかな事業化判断に役立てる方針である。

・調査対象：日本平山頂北側約 71ha の下り斜面

・調査期間：2025（令和 6）年 1 月～2026（令和 8）年 12 月-



図　調査対象範囲

観光振興施策の検討支援（宿泊施設等誘致可能性に関する調査業務）を契約（第 2 回）

日時：2024（令和 6）年 6 月 20 日（木）

場所：日本平周辺

・SFG 不動産投資顧問は、静岡市と MICE 誘致やインバウンド観光に資する静岡市内の宿泊施設等の誘致可能性に関する調査など、静岡市における観光振興施策の検討を支援するため有償コンサルティング契約を行った。

・具体的には、宿泊施設誘致に関連する民間事業者等（運営者、土地・建物所有者、出資者等）に幅広くヒアリング等を行い、不動産に関する情報および不動産の利用等に係る関係者との調整に関する情報の提供を行う。

※MICE：企業等の会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体等が行う会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った、ビジネスイベントの総称

② 土地利用関連

［スマート IC 周辺の大規模開発］

日本平久能山スマート IC 周辺にコストコが進出（第 5 回）
日時：2025（令和 7）年 7 月 19 日（土）
場所：宮川・水上地区

・日本平久能山スマート IC 周辺の東名高速道路南側にある宮川・水上地区で進められている土地区画整理事業における土地利用として、アメリカに本社がある会員制大型スーパー「コストコ」が出店に向けて交渉していることが明らかになった。
・19 日に地権者が出席して開かれた土地区画整理組合の総代会で事業計画の説明があり、了承された。
・静岡市は、同地区について交通の利便性を生かして広い範囲からの集客につながる新たな交流拠点の形成を目指す方針としている。今年 1 月には、大型商業湿雪誘致を円滑に進めるため、条例で定められている建物の延べ床面積や売り場面積の上限緩和をする例外規定を設けている。
・同地区内では、別途大手家具メーカー「東京インテリア」も出店に向けて協議が行われている。

日本平久能山スマート IC 周辺の大規模開発（第 3 回）
日時：2024 年（令和 6）年 10 月 11 日（金）
場所：宮川・水上地区

・対象地は、宮川・水上地区で発足した土地区画整理事業が行われていた場所である。容積率などの規制を改定し、商業施設の延べ床面積や売り場面積の上限を緩和する方針である。なお、現在都心部以外の上限は延べ床面積 1 万平方メートル、売り場面積 8 千平方メートルである。対象地では、上限延べ床面積 2 万平方メートル、売り場面積 1.2 万平方メートルに緩和する。
・中心市街地の商業を守り、活性化させていくため、当地でのショッピングモール形式の施設は避ける方針である。
・面積：宮川・水上地区約 47.1 ヘクタール（日本平久能山スマートインターチェンジ（IC）南側）。

［清水駅前のスマートガーデンシティ（新サッカースタジアム整備）］

清水駅前にスマートガーデンシティ（新サッカースタジアム整備）（第 5 回）
日時：2026（令和 8）年 1 月 8 日（木）
場所：清水地区

・新サッカースタジアム整備の最有力候補地とする JR 清水駅東口について、市長へのインタビュー記事が公表。その中で当地を「超スマートガーデンシティ」として、民間投資を経て整備を進めることを説明した。
・静岡市長は、イメージとして「清水駅前で 14 ヘクタールもまとまった土地が出てくることは、これから 20、30 年見てもない。この場所を静岡市のためにどう活用するか。科学技術の進展によって都市づくりも変わる。知能革命の時代に合ったまちづくりが世界の潮流。その中で『超スマートな社会』つくる。世界一と言って良いぐらいの景観を誇り、庭園のような美しさを持ったガーデンシティになる。」と説明している。

清水駅前用地購入合意（第 5 回）

日時：2026（令和 8）年 2 月 18 日（水）

場所：清水地区

・静岡市は、J リーグ 1 部（J1）清水エスパルスの本拠地となるサッカースタジアム整備の最有力地としている JR 清水駅東口の ENEOS 清水製油所跡地について、跡地約 14.4 ヘクタールのうち、約 7.9 ヘクタールを 41 億 5 千万円で取得することで合意したと発表した。

・26（令和 8）年から 2 年かけて跡地内のタンクを撤去､28（令和 10）年以降に土地利用者の公募、30 年代初めに土地造成完了、その後に建設工事に入る見込みである。建設費は 300 億円以上が想定されている。

・合わせて現在の IAI スタジアム日本平の大規模改修費の試算も公表された。J リーグ基準で今後 30 年間使用する場合の大規模改修は 151 億円と見積もられた。ただ、新設案は交通アクセスの改善や商業施設との一体整備による集客力向上が期待できるとし、改修案よりも投資効果が高いとして新設が有力視されている。

清水庁舎複合施設に整備（第 5 回）

日時：2026（令和 8）年 2 月 7 日（土）

場所：清水地区

・静岡市は JR 清水駅東口公園に移転予定の清水庁舎の基本計画案を公表した。

・低層階に行政機能、中層階以上に民間機能が入る複合施設として整備し、2031（令和 13）年度の供用開始を目指している。

・津波浸水想定区域への新設に対する対策として、予定地の地盤をかさ上げし、プデストリアンデッキを西口まで直結させ、来庁者の退避や避難者の受入れを可能とする予定。

・整備は公民連携（PPP）手法で行い、最大床面積は 3 万 9 千平方メートル、行政機能は 1 万 2500 平方メートル程度を想定している。

サッカースタジアムを活かしたまちづくり（第 2 回）

日時：-

場所：IAI スタジアム日本平

・現 IAI スタジアム日本平は、1991（平成 3）年に収容人数 13,216 人の日本平運動公園球技場として開場したのちに J リーグの開幕に合わせ、20,299 人収容のスタジアムに改築している。しかしながら、現在の J リーグのスタジアム基準を一部満たしていないことや、鉄道駅から距離があるとともに、J リーグ開催時に渋滞が発生するなど、アクセス面での課題がある。

そこで、「静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」を設置し、新スタジアムの候補地に関する検討や土地利用条件の整理などを進めている。

［東静岡の再開発］

2030（令和 12）年 4 月開業の東静岡の多目的アリーナ整備・運営事業（第 5 回）
日時：2026（令和 8）年 2 月 26 日（木）
場所：東静岡地区

・静岡市は、2030（令和 12）年 4 月の開業を目指して JR 東静岡駅北口に整備する多目的アリーナについて、NTT ドコモを代表企業にしたグループが整備・運営事業を行うことになったと発表した。
・アリーナは、敷地が約 3 万平方メートル、建築面積が 1 万 6900 平方メートル、4 階建てで、大規模コンサートにも対応できる 1 万席である。着工は 27（令和 9）年 8 月を予定している。
・整備手法は PFI（民間資金活用による社会資本整備）の 1 つである「BT コンセッション方式」を採用した。

［民間水族館計画及び海洋 DX 先端拠点化］

清水区での民間による水族館計画（第 5 回）
日時：2025（令和 7）年 5 月 29 日（木）
場所：清水地区

・県内で爬虫類動物園「iZoo（イズー）」を運営する静岡市の「レップジャパン」が清水区内で姉妹園の位置づけとなる「Zoo Zoo Sea（ズー・ズー・シー）」を計画しており、数年以内のオープンを目指していることが明らかになった。魚類外にもオットセイやペンギン、ウミガメなどの野生の姿を観察できる施設とする方針である。候補地は、日の出地区か三保地区周辺への進出を目指している。
・近年の中部横断自動車道の開通や国際クルーズ船の寄港増加もあり、年間利用者は 30 万から 50 万人を見込んでいる。投資規模は数十億円規模となる見通しである。
・同清水区では、静岡市の海洋文化施設計画が進んでいるが、本民間施設の開業が先行する可能性が高くなっている。

「駿河湾・海洋 DX 先端拠点化計画」が地方大学・地域産業創生交付金事業に採択（第 3 回）
日時：-
場所：清水地区

・静岡市・静岡県は、大学、研究機関、企業等と連携し、今後 10 年間、国の交付金（2024～2023（令和 6～15）年度）を活用し、駿河湾・海洋 DX（海に関するデータ、デジタル技術を用いた技術革新・社会変革）の研究・教育力強化や先端的な産業振興、雇用創出を総合的に取り組み、海洋 DX の先端拠点化の形成を進める。
・静岡市、静岡県、静岡理工科大学、静岡大学、東海大学、研究機関、企業等が推進体制を構築し、駿河湾・清水港を活かした海洋 DX の研究開発拠点形成、海洋 DX の大学院修士課程の設置等による人材の育成、海洋関連の新産業創出等を一体的に進めていく。
・静岡市は、静岡県と共に本交付金を活用し、関係産学関係者と連携し、BX（ブルー・トランスフォーメーション（海洋に関する社会変革））を推進する。

「(仮称) 静岡市海洋・地球総合ミュージアム整備運営事業」事業契約の締結（第 2 回）
日時：2023（令和 5）年 2 月 1 日（水）
場所：清水地区

・(仮称) 静岡市海洋・地球総合ミュージアム整備運営事業について、市議会 2023（令和 5）年 2 月定例会における議決を経て、落札者により設立された株式会社静岡海洋文化ネットワークと事業契約を締結した。

［周辺の未来型都市：実証都市「Woven City（ウーブン・シティ)］

トヨタ自動車による実証都市「Woven City（ウーブン・シティ)」が稼働（第 5 回）
日時：2025（令和 7）年 9 月 25 日（木）
場所：県内（裾野市）

・トヨタ自動車は 9 月 25日に実証実験を行う企業の関係者が集まり、まち開きを行った。この「ウーブン・シティ」は、町全体を「テストコース」に見立て、幅広い分野の技術開発の場としといる。実証実験に参加する企業等は、トヨタグループ 12 社と異業種 7 社の計 19 社である。
・25 日に稼働したのは、第 1 期エリア（47000 ㎡）で 8 棟の集合住宅を含む計 14 棟が立地している。まず、トヨタ関係者の数世帯が住み始め、残りの敷地造成も今後行い、将来的には 2000 人が住む町になる予定である。なお、なお、一般の方のビジターとしての受け入れは、2026（令和 8）年度以降を予定である。
・街全体の地上の道は、「歩行者専用の道」、「歩行者とパーソナルモビリティが共存する道」、「モビリティ専用の道」の 3 種類に分類されている。
・トヨタは敷地内に設けた専用道路を用いて、9 月に発売した多用途に使用できる箱型電気自動車（EV)「イーパレット」の自動運転等の実証実験を進める。公道ではないため、制約が少ない環境で実験ができる特徴がある。




出典：Woven City 公式 HP

図　自動運転等による移動交通のイメージ

トヨタ自動車による実証都市「Woven City（ウーブン・シティ）」（第 3 回）
日時：2025（令和 7）年 1 月 6 日（月）
場所：県内（裾野市）

・トヨタ自動車は 1 月 6日にラスベガスで開催されたテクノロジー展示会「CES」において、静岡県裾野市で建設中の実証都市「ウーブン・シティ」が 2025（令和 7）年秋にも始動すると発表した。ダイキン工業や日清食品などの 5 社が加わり、実証実験を行う。業界の垣根を越えて連携し、先進技術や生活に役立つサービスの開発に取り組む。
・面積：約 70 万平方メートル
・概要：トヨタ自動車の工場跡地の活用による実証都市の建設。研究者や起業家らが居住し、自動運転車両や人工知能（AI）、水素などを活用して社会課題の解決につながる発明を目指す。2024（令和 6）年 10月に第 1 期エリア（約 5 万平方メートル）の工事が完了した。2025（令和 7）年秋以降にトヨタ従業員ら約 100人が住み始め、将来は 2,000人程度に拡充する予定。



出典：Woven City 公式 HP

図　整備イメージ

③ 交通関連

［GW 期間の混雑状況］

日本平動物園が GW 期間に駐車場の完全予約化導入（第 4 回）
日時：2025（令和 7）年 4 月 20 日（日）
場所：日本平動物園

・日本平動物園では、ゴールデンウイーク（GW）期間における駐車場の入庫待ち行列による周辺道路の渋滞回避を目的として、今年の GW から、駐車場の完全予約制を導入する。
・日本平動物園は、鉄道の駅から遠く自家用車で来園する人が多数を占めている。主要な接続道路も基本的に 1 本しかないため、GW 期間は駐車場に入ろうとする車が道路まではみ出し、周辺に大渋滞が起きていた。長い時は園の入り口から 1.5 ㎞先の南幹線まで車が繋がり、午前 10 時～午後 2 時くらいまで渋滞が続いていた。
・動物園では自家用車で来る人を減らそうと、シャトルバスを運行しているが、シャトルバスが渋滞に巻き込まれ、動物園までなかなか到着しないという本末転倒な事態になっていた。
・対象期間は、5 月 3 日～6 日の 4 日間で 4 月 1 日から日本平動物園のホームページで予約受付開始する。予約がない車は駐車場に入ることはできない。また安全上の理由から、車での送迎も禁止となる。
・この期間は JR 東静岡駅南口から無料シャトルバスが、15 分に 1 本程度運行される。動物園で

は、予約ができなかった人はシャトルバス、自転車、タクシー等で来園してほしいと呼びかけている。なお、東静岡駅周辺に動物園が用意する無料の駐車場の設置はない。

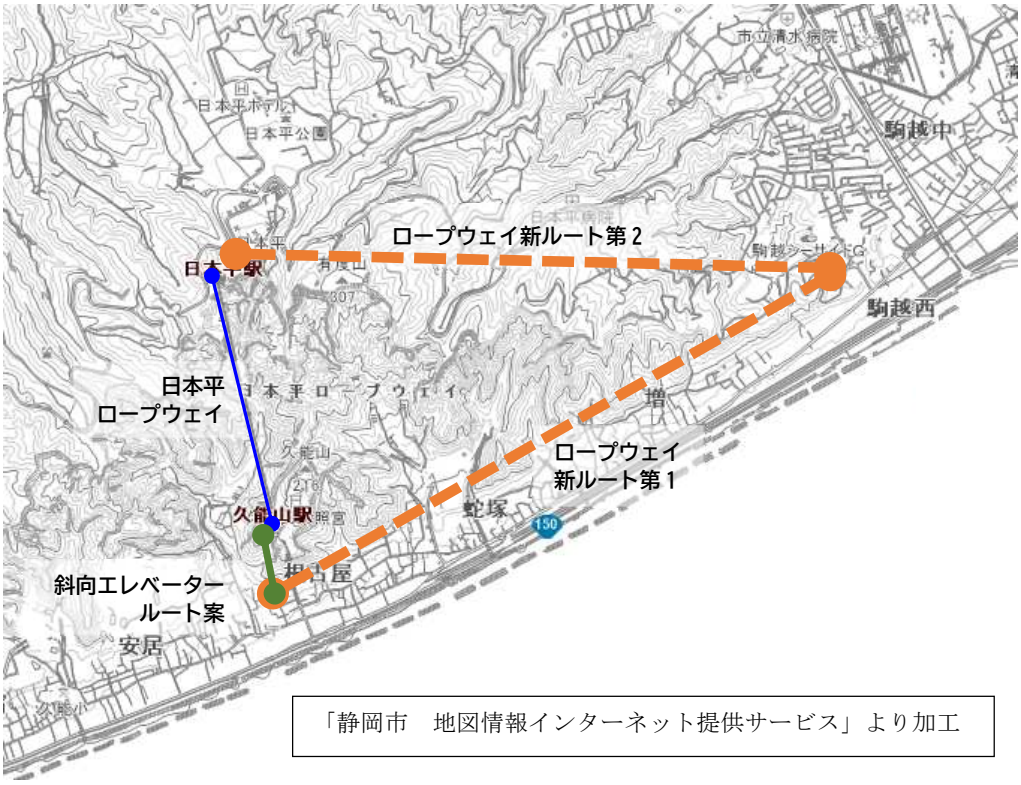
《実施後》
・予約制を導入したことで、毎年の課題であった周辺道路の渋滞は、今年は発生しなかった。一方、懸念されていた来場者数への影響については、JR 東静岡駅から無料シャトルバスを運行したものの、2024（令和 6）年の同じ時期と比べて約 39%減った。
・市長は会見で「本来、動物園は楽しんでもらうための施設、多くの方に楽しんでほしいのに、駐車場がないので楽しめなかったでは、問題になる。

［地元による新規アクセスルートの整備要望］

清水地区の地元団体による開発等の整備要望（第 3 回）
日時：2017（平成 29）年-
場所：日本平周辺

・清水地区の事業者等からなる団体（「魅力ある清水を創る会」※）により、日本平周辺にも関連する開発要望が提案されている。（※静岡商工会議所の外郭団体）
・2017（平成 29）年の提案書「地方創生と清水の明日」において、清水側から日本平におけるアクセスについて、新規ロープウェイの提案がされている。

【該当部分の要約】
✓現在、三保に通じるイチゴ狩りで有名な久能街道側からは、階段を上る以外では久能山東照宮に参拝できない。特に高齢者には不便である。
✓そのため、**三保から日本平・久能山東照宮への新規ルートとして、県柑橘類試験場跡地を利用し、自然保護に充分注意した上でロープウェイの提案（2 案）と久能山駅への斜向エレベーターの提案**をしている。



「静岡市　地図情報インターネット提供サービス」より加工

・2023（令和 5）年には、「清水区の観光に関する現状と課題（久能山東照宮整備に対する要望)」と題して、久能山東照宮内の整備に関する休憩施設（ベンチ）やアプローチ等の提案を行っている。

①現代に即した「便所（山上)」の早急な更新

②「屋内山上休憩施設」の新設

③「屋外山上休憩施設」の充実

④日本平ロープウェイ久能山駅へのアプローチ改善



出典：「魅力ある清水を創る会」資料

図　久能山東照宮内の整備イメージ

［次世代エアモビリティ］

静岡県次世代エアモビリティ（eVTOL）導入促進のロードマップを公表（第 3 回）

日時：2024（令和 6）年 12 月 24 日（火）

場所：県内（裾野市他）

・静岡県は次世代エアモビリティの県内普及に向けたロードマップを公表した。

・ロードマップでは、2025（令和 7）年度に次世代型ヘリコプター利用の需要調査を実施し、2027 年度に商用運航（観光遊覧飛行）を始め、2030 年度に観光遊覧飛行での 2 地点間移動、2030 年代中に救急医療や災害救助などを目指している。

・また、機体開発等の関連産業の振興について想定されており、2025（令和 7）年度から企業マッチング、研究経費の助成を進める。既に、朝日航洋と提携し点群データを使い航路の検討も始めている。

・県内では SkyDrive（スカイドライブ）が 2024（令和 6）年 3 月から磐田市で空飛ぶクルマの製造を始めた。

・御殿場プレミアム・アウトレットでは、三菱地所が離着陸場を整備している。



富士山を背景に飛行する初のeVTOL機

Joby機の米国外初飛行(トヨタ自動車 東富士研究所:裾野市)

Courtesy of JobyAviation. (c) Joby Aero, Inc.

出典：ロードマップｐ10

図　次世代エアモビリティの機体イメージ

静岡県と IHI が次世代エアモビリティの社会実装に向けた連携協定を締結（第 5 回）

日時：2025（令和 7）年 8 月 23 日（土）

場所：県内

・IHI と静岡県は、屋上設置型離着陸場の実現を目指し、次世代エアモビリティの社会実装を推進することを目的に、「次世代エアモビリティ(eVTOL)」の社会実装に向けた連携協定を締結した。

・静岡県で策定された「次世代エアモビリティ(eVTOL)導入促進ロードマップ」(2024（令和 6）年 12 月)では、「ユースケース（用途）別社会実装の促進」と「関連産業の振興」の両輪でプロジェクトを推進し、2027 年度の商用運航開始を目指すことが示されており、環境整備に関する取組み目標として、2029（令和 11）年度までの屋上設置型離着陸場の利用開始が掲げられている。

・IHI グループの IHI 運搬機械株式会社は、2019（令和 1）年に国内で初めてドローンから自動運転モビリティへの荷物の無人受け渡しを実現する物流ドローンポートを開発した。以後、ドローンによる輸送ビジネスや、都市部の屋上階を活用した次世代エアモビリティ(eVTOL)向け離着陸場など、新たなエアモビリティの社会実装に向け、検討を重ねている。

［連携事項］

・離着陸場の整備・運用に係る課題抽出
・離着陸場における機体の運航プロセスの検証
・離着陸場に関する新たな制度・ルールづくりに向けた取組
・本協定に基づく地域振興及び産業振興
・本協定の目的を達成するために必要な事項

次世代エアモビリティの試験飛行場として三保飛行場他が選定（第 5 回）

日時：2025（令和 7）年 6 月 5 日（木）

場所：三保地区（三保飛行場）

・県は、次世代エアモビリティの試験飛行の実証フィールドとして、三保飛行場など 6 カ所を選定した。他の試験飛行場は、市総合水泳場北側空地（浜松市中央区）、旧竜洋最終処分場（磐田市）、天城ふるさと広場（伊豆市）、日洋らんセンター跡地（西伊豆町）、町営差田グランド（南伊豆町）である。試験飛行用航路として、遠州灘、駿河湾、南アルプスの 3 航路も選定した。

・次世代エアモビリティの実用化には多くの試験飛行が欠かせないため、県は環境整備を整え申請手続きを簡略化するなどにより関連企業の集約も図りたい考えである。

・また、次世代エアモビリティ産業の創出に向けた「開発推進コンソーシアム」も設置することも同時に発表された。

旧三保飛行場の利活用の検討（第 2 回）

日時：2024（令和 6）年

場所：三保地区（三保飛行場）

・本市の三保半島先端に位置する旧三保飛行場は、従来、救難飛行等の目的で活用されていたが、現在は場外離着陸場としての運用が終了し、有効活用されていない。こうした中、今後は、次世代エアモビリティ、空中ドローンをはじめとする、新たな空の移動手段の研究開発、社会実装が国内外で進むことが想定され、そうした社会の下での従来と異なる用途を含めた旧三保飛行場の有効活用について検討の必要性が生じている。

・利活用の検討に際しては、旧飛行場の特性を活かし、次世代エアモビリティ等の研究開発の実証フィールドとしての可能性にとどまらず、隣接する清水港周辺における海洋研究開発拠点との連携や、名勝、世界文化遺産の指定を受けている三保松原の価値の向上、三保半島の観光や地域振興に資する多様な利活用可能性を調査検討する。（委託期間：契約締結日から 2025（令和 7）年 3 月 24 日（月）まで）

ANA ホールディングスと Joby Aviation がエアタクシーの本格検討（第 5 回）

日時：2025（令和 7）年 8 月 5 日（火）

場所：国内

・ANA ホールディングス（HD）は、日本国内におけるエアタクシーサービス提供に向けた検討を開始すると発表し、設計・製造する Joby Aviation（ジョビー・アビエーション）と合弁会社を立ち上げる方向で合意した。2027（令和 9）年度以降に日本国内でサービス開始を目指す。

・将来的には、100 機以上を導入し、首都圏をはじめとした国内各地への展開を目指している。タクシーなどで 60～90 分かかる都心部と成田空港間の所要時間が 15 分程度に短縮される見通しで、日常的に利用できる価格帯での運航を予定している。

・試験が行われている期待は 5 人乗りで、最高速度が時速 320 キロである。なお、大阪・関西万博において 2025 年 10 月 1 日（水）から 10 月 13 日（月）まで、ANA の特別塗装を施した「Joby S4」のデモンストレーションフライトを一般公開。



©Joby Aviation

出典：ANA プレスリリースより

図　飛行イメージ

次世代エアモビリティの活用を想定した外国人モニターツアー（第 5 回）

日時：2025（令和 7）年 9 月 6 日（土）

場所：日本平周辺

・県が次世代エアモビリティの先進地を目指した取り組みを具体化させている。

・清水港日の出ふ頭で米国、フランスなど 18 か国の国内在住外国人や県内観光関係者など約 60 人によるモニターツアーを初開催した。

・「空飛ぶクルマ」の主流とされている電動垂直離着陸機「eVTOL（イーブイトール）」の装用運航に向けた外国人モニターツアーである。今回のツアーでは「eVTOL」を模したヘリコプターに 4 人づつ搭乗し、清水港、日本平、三保半島を 10 分かけて周遊し、空からの景色を存分に楽しんだ。社会実装を想定して行われた観光遊覧だが、事業者が参入を検討する際のターゲット層や利用料金などの需要調査を目的に企画された。

・参加者へ行ったアンケートでは、適正利用額が「100～200 ドル」と「300 ドル以上」がともに 4 割近くになっており、外国人の関心の高さや富裕層への利用が期待できることが分かった。

・県は、市街地への離発着場整備を見据えて知見のある企業と連携協定も締結している。

御殿場アウトレットの離発着場にてデモフライト（第 4 回）

日時：2025（令和 7）年 5 月 27 日（火）

場所：御殿場プレミアム・アウトレット

・御殿場市にある御殿場プレミアム・アウトレットでは、27 日に次世代エアモビリティ用の離発着場「パーティポート」を整備し、今秋ごろにデモフライトを予定していると発表した。

・離発着場「パーティポート」は 2023（令和 5）年 12 月に国土交通省が示した整備指針に従い整備されており、航空管制室や待ち合いスペースがあるトレーラー型のターミナル施設も設置した。

［ライドシェア］

「日本版ライドシェア」清水港で始動（第 4 回）

日時：2025（令和 7）年 4 月

場所：清水港

・清水港でクルーズ船客を対象に、「日本版ライドシェア」が始動した。クルーズ船客のインバウンド（訪日客）需要により、タクシーの供給が追いつかない事例があり、取りこぼしを防ぐことを狙っている。

・これまで清水港では、白タク（タクシーの無許可営業）行為が横行する実態もみられていた。

・清水港は海外からのクルーズ船寄港が昨年約 80 回あり、今年は 100 回超と大幅な増加が見込まれている。停泊時間はおおむね日中の 10 時間前後の場合もあり、乗客にはタクシーを使って富士山目当てに富士宮市や河口湖（山梨県）、箱根（神奈川県）まで足を延ばす人が少なくない。

・複数のタクシー会社が同港に乗り入れていたが、大型船が立ち寄るとタクシー利用の希望が 100 人規模に達し、一部の客を 1 時間以上待たせたり、市中のタクシーが不足したりする実質的な交通空白が生じていた。

・今回、タクシーの配車事業をしている一般社団法人静岡 TaaS（静岡市葵区）が市に国へ申請し、17 台分のライドシェアが許可された。駿河交通（同市駿河区）に 2 台が登録し、4 月からサービスを始めた。

・ウェブ予約にシフトし、英語を話せたり、通訳アプリを使いこなせたりする人材を養成し、乗務員のおもてなしスキル向上も図る。

［自動運転］

清水港周辺での自動運転実験・調査の実施等（第 2 回）

日時：2024（令和 6）年

場所：清水港周辺

《実証 1：拠点間輸送確保に向けた調査》

・乗務員不足・高齢化に対応した持続可能な社会を支える公共交通の構築を目的として実施する。

・江尻地区（清水駅）から日の出地区までの間で実施。

・走行シミュレーションやリスクアセスメントの調査を行う。

・中長期的取り組み：一般公道での自動運転の実用化を目指すため、安全性の検証や事業採算性の検証、運営体制の構築を進めながら、レベル 4 実装を目指す。

《実証 2：港の魅力を高める周遊交通のための実証》

・クルーズ船客・来訪者の周遊性向上を目的として実施する。

・日の出地区のドリームプラザからマリンターミナル間で行う。

・グリスロ（20km/h 未満の EV）での実証運行。

・中長期的取り組み：調査対象地では、一般車の通行が少なく自動運転の走行に適しているため、安全性の検証、運営体制の構築を行い、実装を目指す。

《清水港日の出エリアの自動運転導入に向けた有人電動カート試行実施》

・観光交通を充実させて港の魅力を高める周遊交通の向上を目指している。

・クルーズ客を含む日の出エリアへの来訪者を対象とし、料金は無料。（予約不要）

・定員 5 人の有人電動カート 2 台を導入し、クルーズ船寄港拠点のマリンターミナルとドームプラザ間をピストン輸送した。
・将来の自動運転化を視野に入れた実験。2024（令和 6）年 3 月に実施。運行時間帯は 9:00-16:00
　クルーズ船寄港日：平日：4 日間　休日：3 日間
　クルーズ船寄港日以外：平日：7 日間　休日：4 日間